

令和6年度版 柏市死亡小票分析

令和7年7月3日
柏市地域医療推進課

目次

Section.0	調査概要及び人口データ	P.2
Section.1	全死亡者数の推移	P.10
Section.2	死亡診断書・死体検案書の発行数の内訳 . . .	P.14
Section.3	“看取り死”の推移	P.17
Section.4	自宅での“看取り死”の推移	P.25
Section.5	その他のデータ	P.35

調査概要及び人口データ

人口動態調査死亡小票の利用

- 人口動態調査死亡小票は、死亡診断書（死体検案書）のデータを基にした死亡統計である。厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用し独自に集計しているため、公表値とは一致しない場合がある。

【今回分析に用いた死亡小票上の項目】

- 性別
- 生年月日
- 死亡したとき
- 死亡したところ
- 死亡した人の住所
- 死亡したところの種別
- 死亡の原因
- 死因の種類
- 外因死の追加事項
- その他特に付言すべきことがら
- 施設の所在地又は医師の住所及び氏名

- 今回の分析では、柏市保健所の死亡小票、平成31年1月～令和5年12月の5年間、22,551件のデータを分析にかけた。各年のデータ数は下記のとおりである。

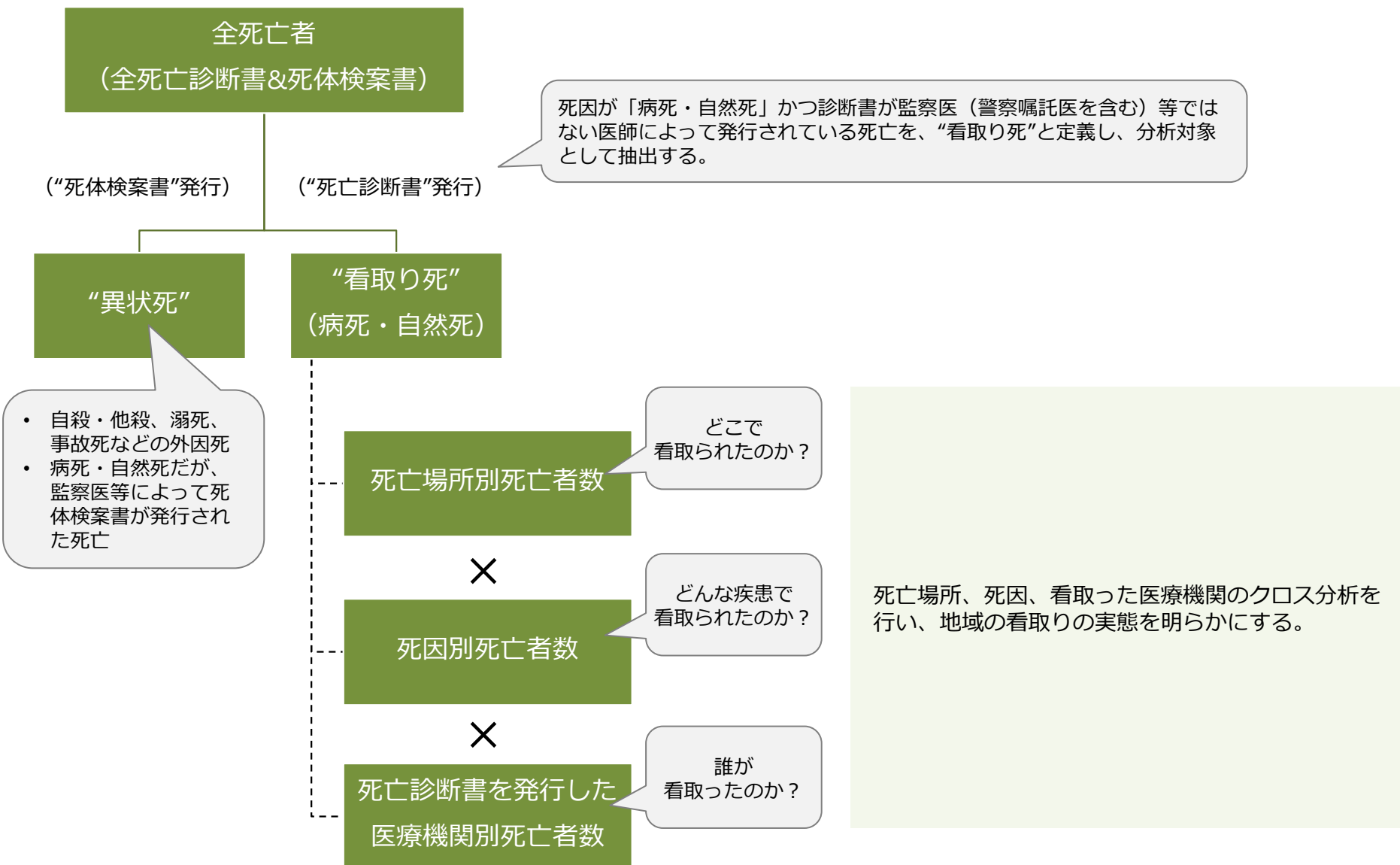
平成31年	3,961件
令和 2年	4,109件
令和 3年	4,459件
令和 4年	5,033件
令和 5年	4,989件

計22,551件

人口動態調査死亡小票のサンプル

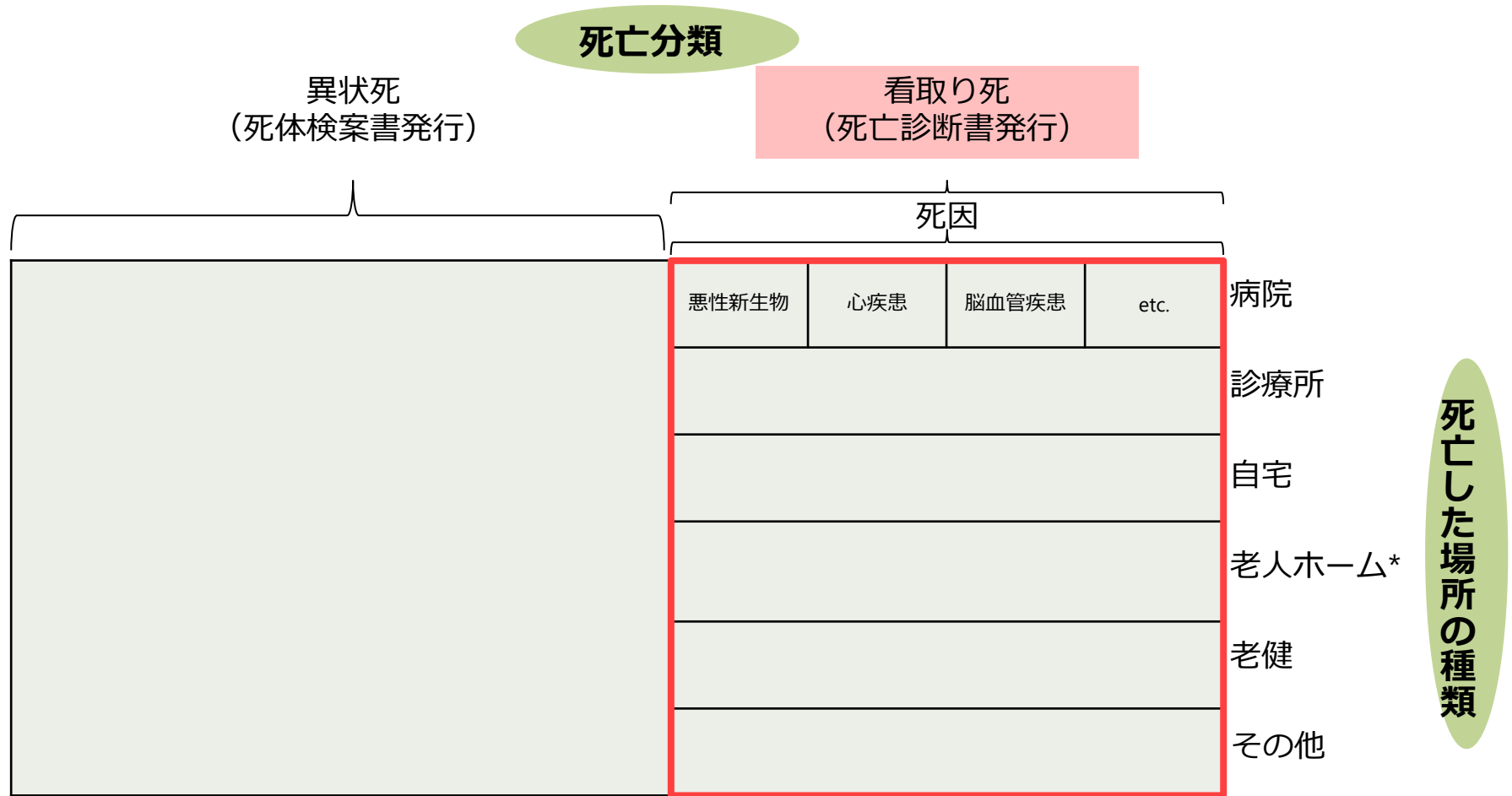
[illegible]

死亡小票分析のイメージ



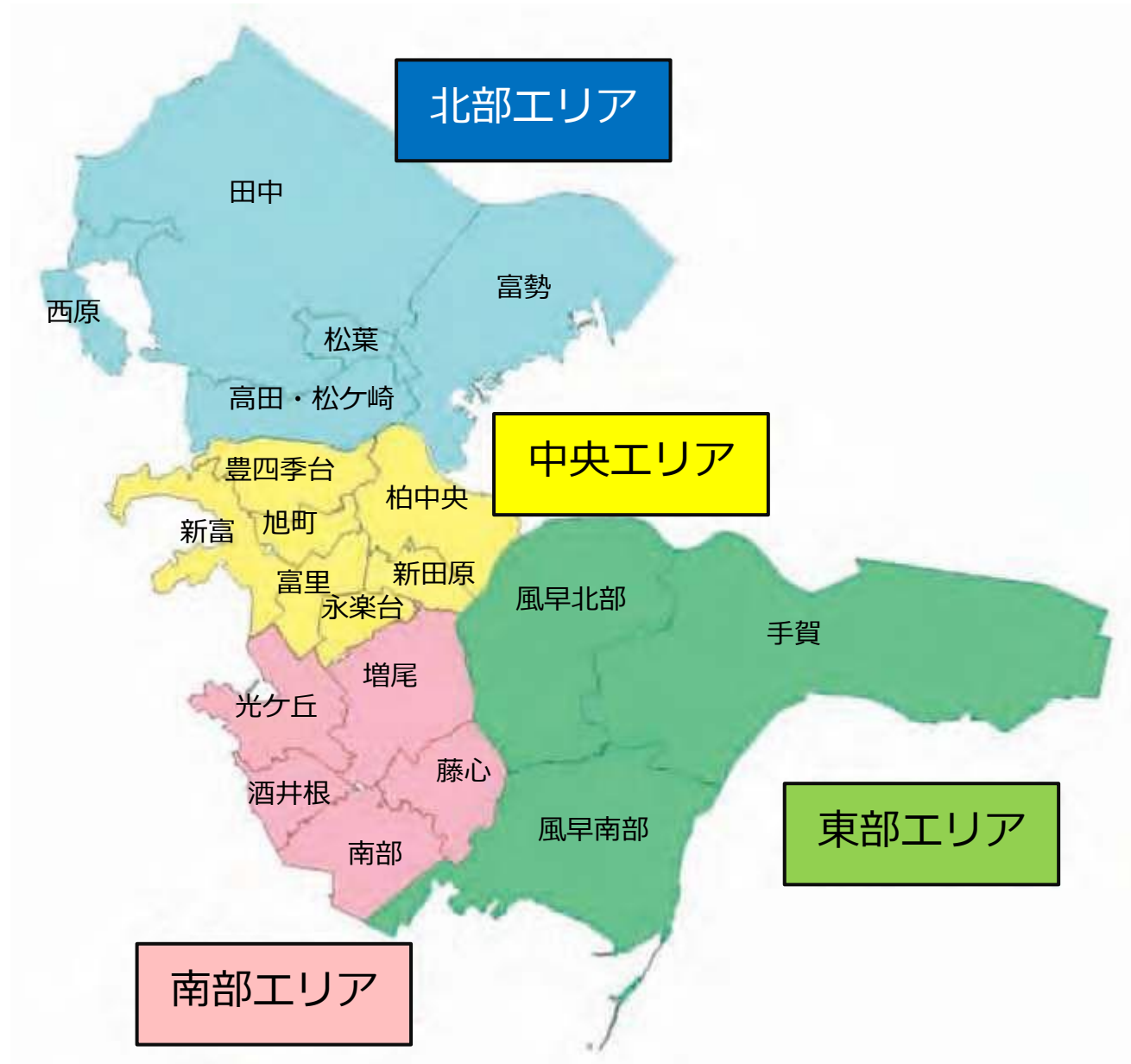
死亡小票データの見取り図

“看取り死”を主な分析対象とします



*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

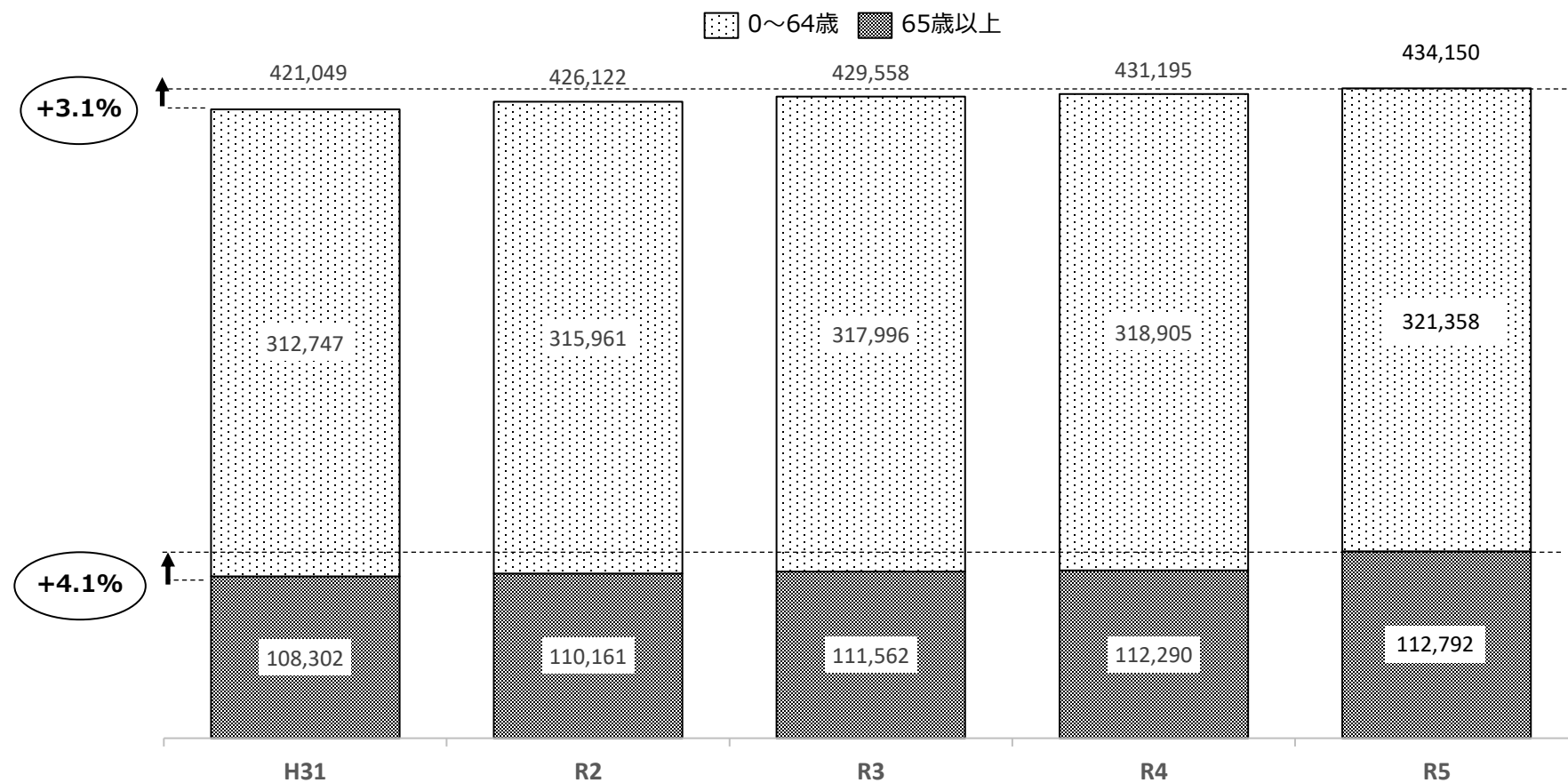
柏市のエリア（地域）の分け方



柏市の人口推移と高齢化率

- 人口は一貫して増加している。
- 平成31年から令和5年で全体3.1%に対して、65歳以上は4.1%増加している。

(単位：人)



柏市の人口推移と高齢化率（エリア別）（1/2）

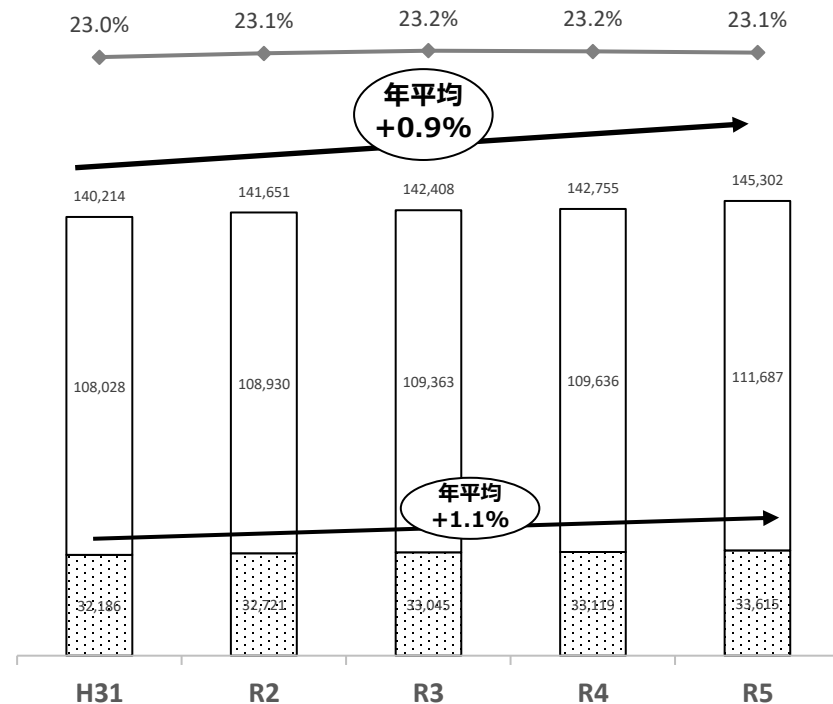
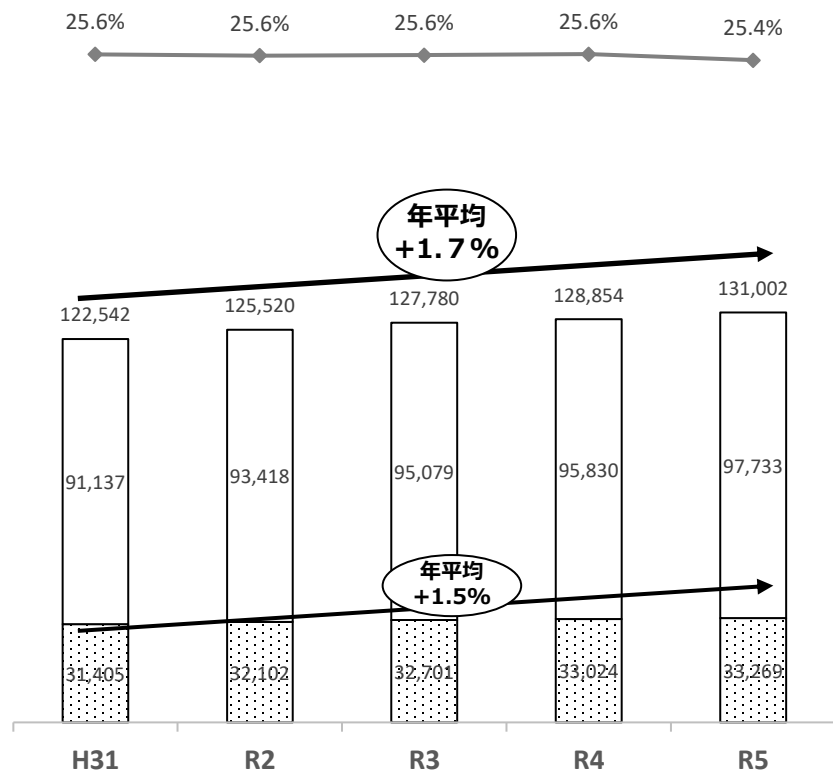
- 令和5年の人口を前年と比較すると、北部、中央、東部エリアは増加、南部エリアは減少している。
- 令和5年の高齢化率を前年と比較すると、北部、中央エリアは低下、南部エリアは上昇、東部エリアは横ばいとなっている。

北部エリア

中央エリア

□ 0～64歳 ■ 65歳以上 ◆ 高齢化率

（単位：人）



柏市の人口推移と高齢化率（エリア別）（2/2）

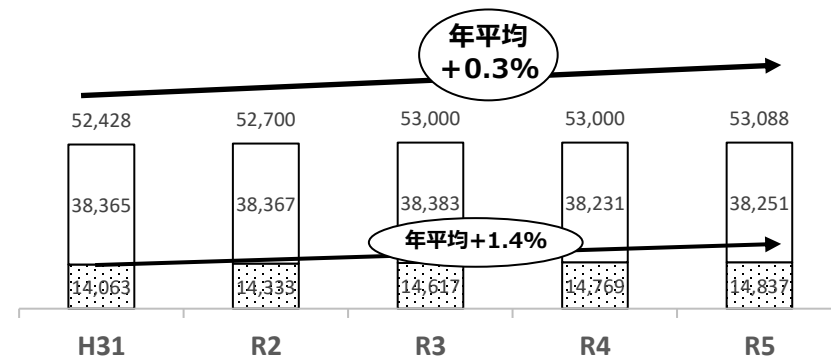
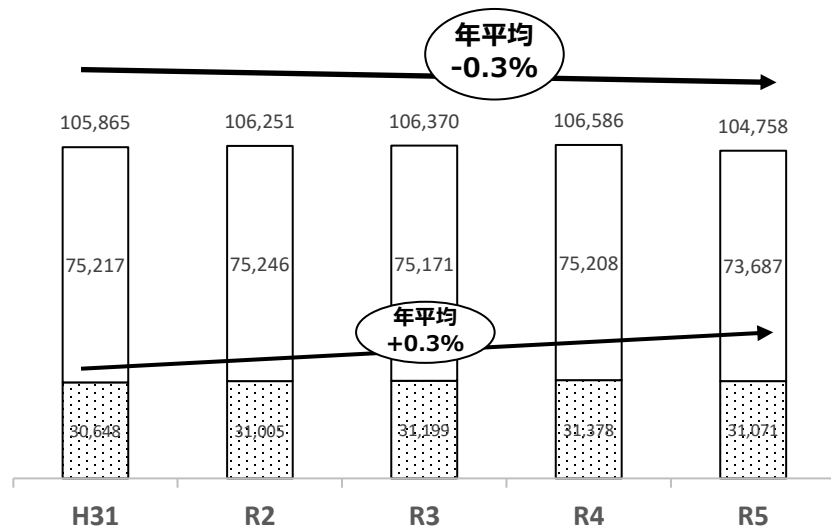
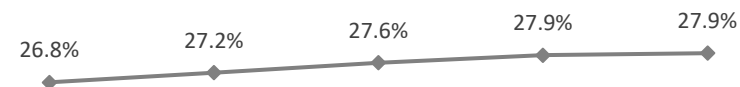
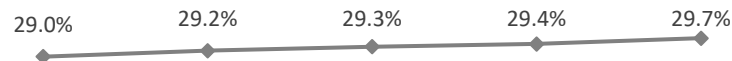
（前ページの続き）

南部エリア

東部エリア

□ 0～64歳 ■ 65歳以上 ◆ 高齢化率

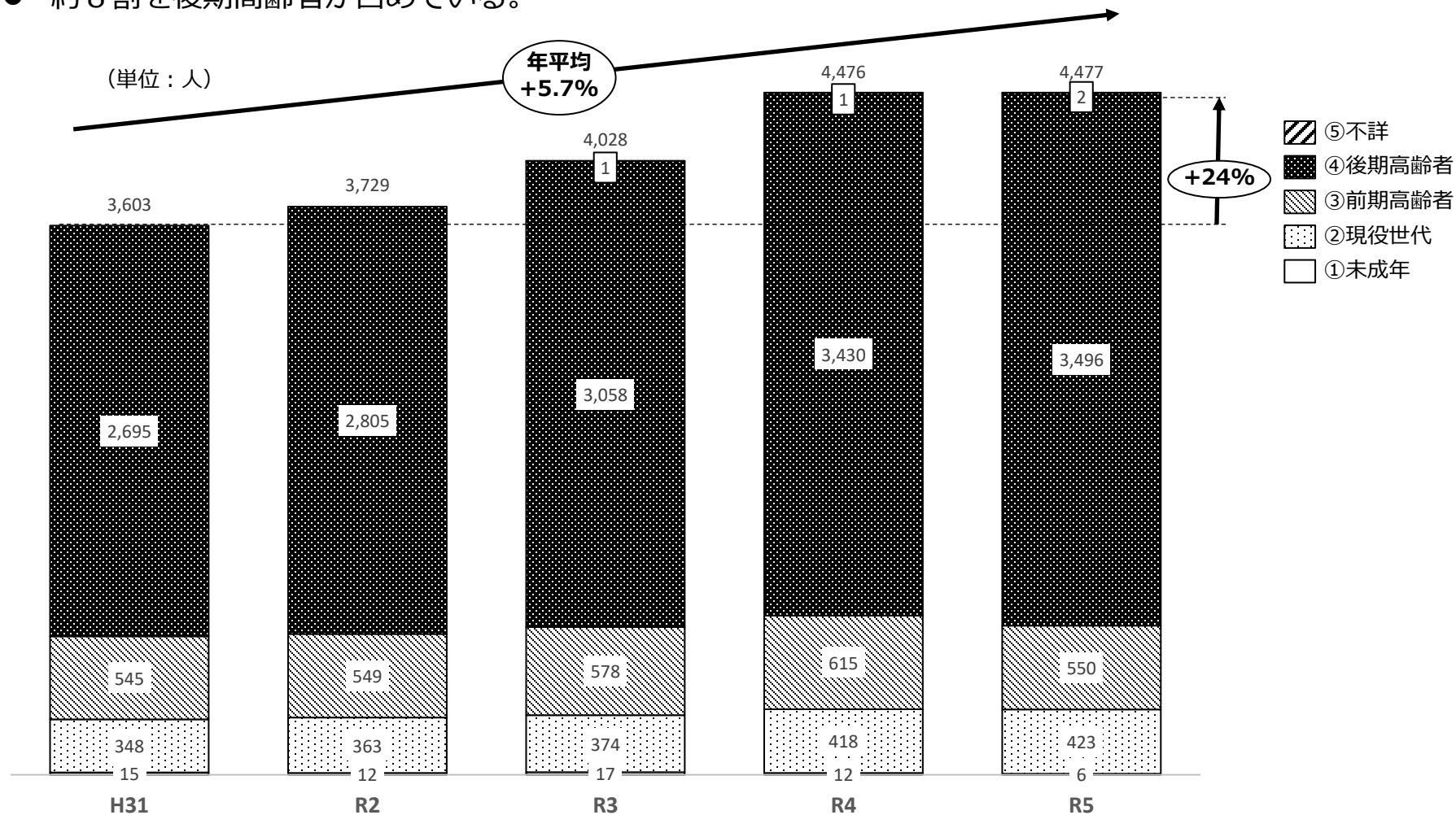
（単位：人）



全死亡者数の推移

死亡者数の推移

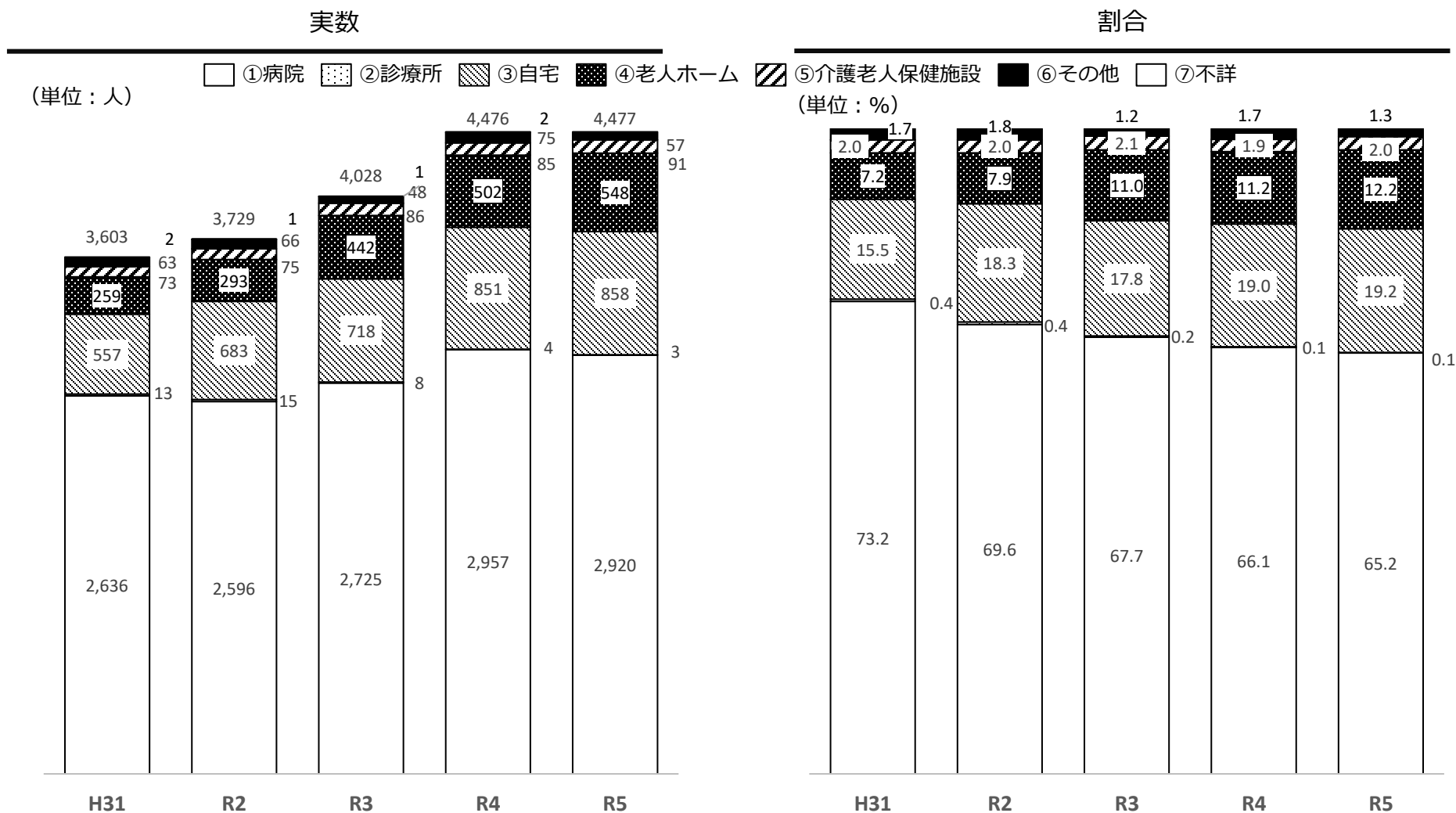
- 死亡者数は増加傾向にあり、年平均5.7%で増加している。
- 令和5年は前年から大きな変化はない。前期高齢者が減少し、後期高齢者が増加した。
- 約8割を後期高齢者が占めている。



*年齢区分は以下のように定義した。「①未成年：20歳未満」「②現役世代：20歳以上～65歳未満」、「③前期高齢者：65歳以上～75歳未満」、「④後期高齢者：75歳以上」

死亡場所別の死亡者数の推移

- 全死亡者の死亡場所別の割合は、自宅と老人ホームが増加傾向にある。



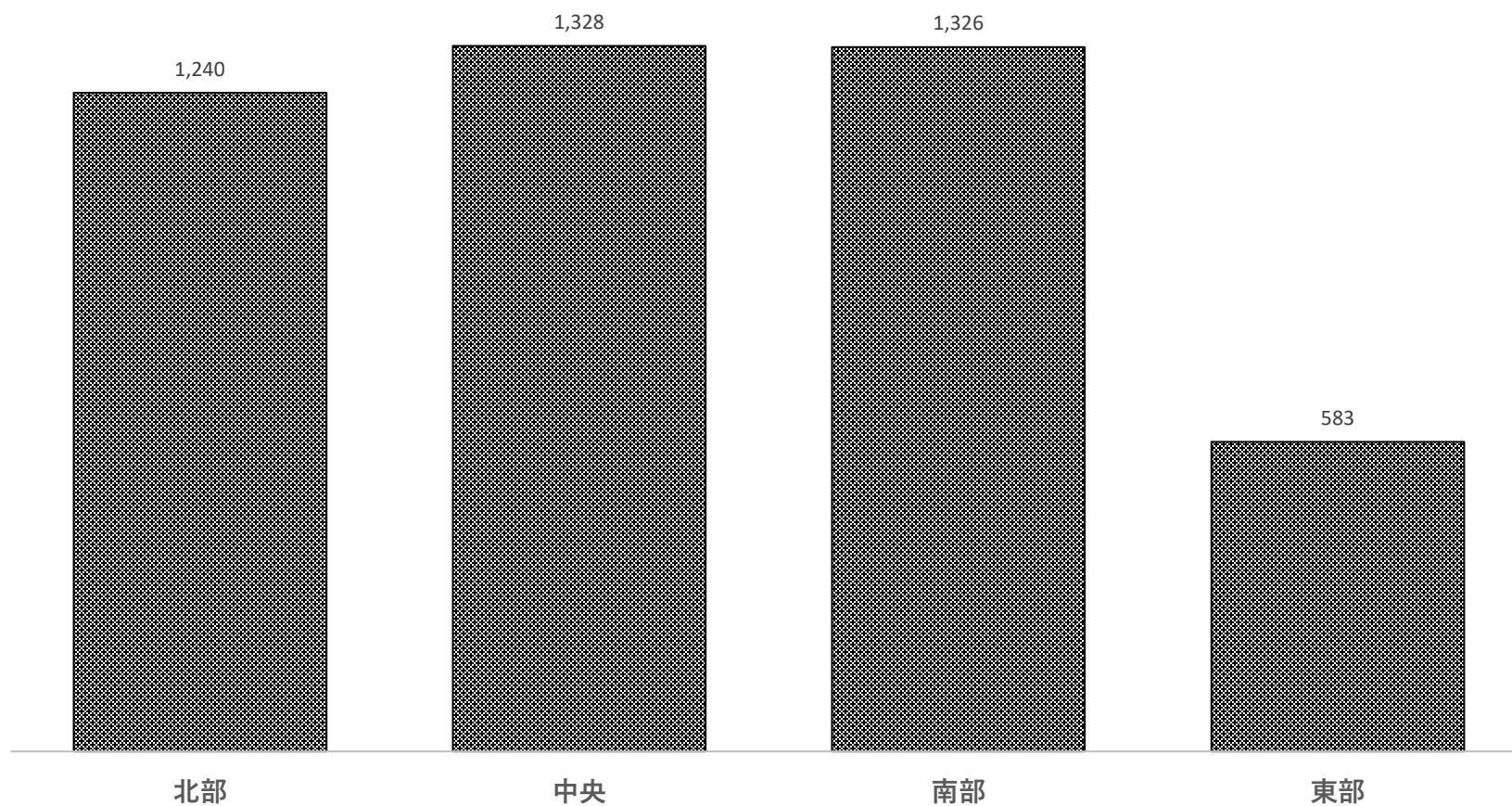
*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

エリア別の死亡者数（令和 5 年）

- エリア別の死亡者数は、東部以外のエリアではおよそ1,300人前後となっている。

（単位：人）



死亡診断書・死体検案書の発行数の内訳

- 死亡診断書とは…

医師が“診察または診療した患者”について発行する「死亡の事実を証明する書類」で、死亡の届け出をする場合には、添付書類として必ず提出しなくてはならない。

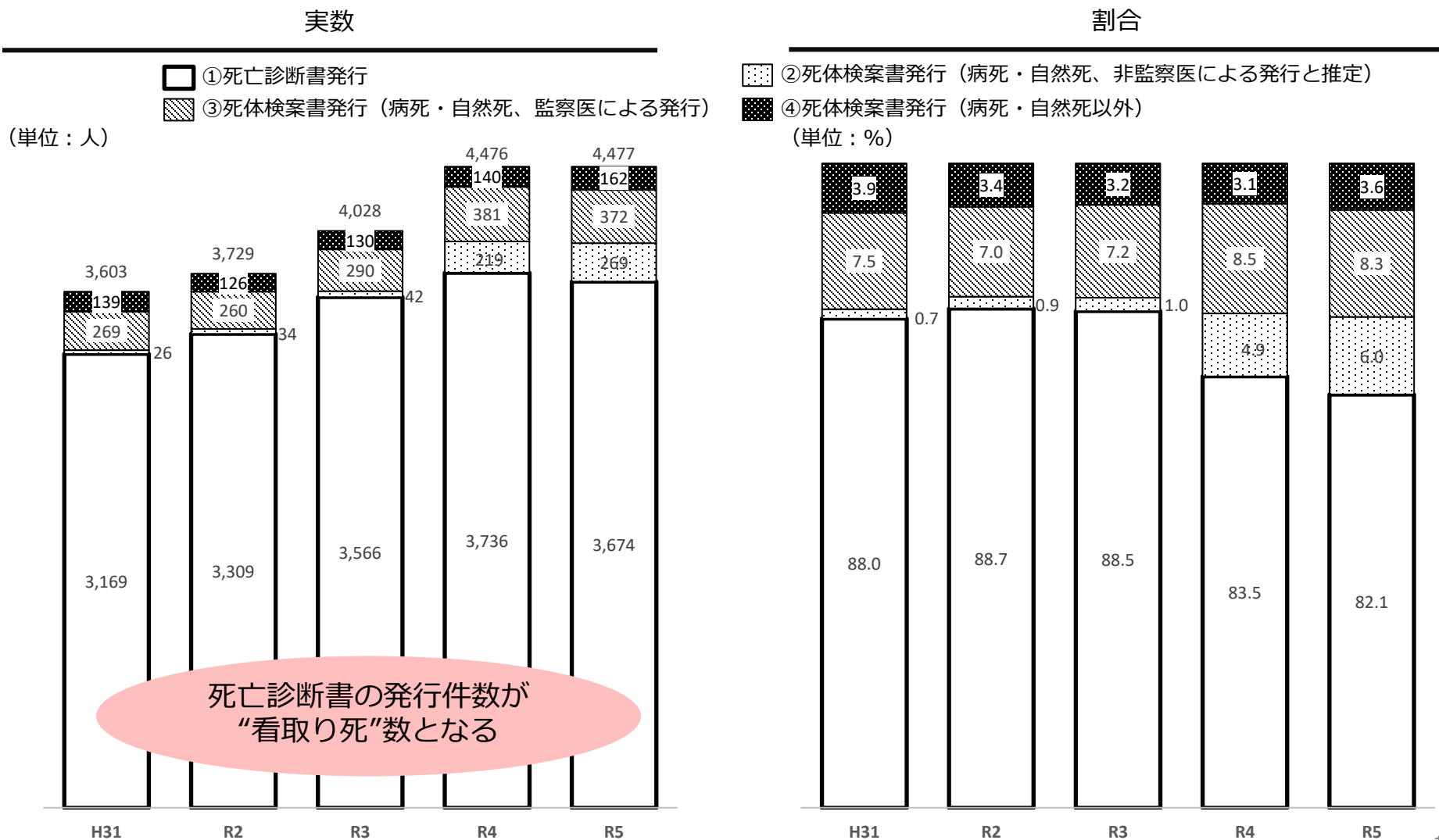
- 死体検案書とは…

医師が“生前から診療していない人”の死に対して、検案した一定の事実によって、その人の死亡を証明する文書のこと。死亡診断書が発行されない死亡にはすべて死体検案書が発行される。

（ともに小学館日本大百科全書より引用、一部改変）

死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 全死亡における死亡診断書発行数は前年より減少しており、割合も減少している。



自宅死亡者の死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 自宅での死亡者における“看取り死（①死亡診断書発行）”の数と割合は、一貫して増加傾向にある。

実数

割合

①死亡診断書発行

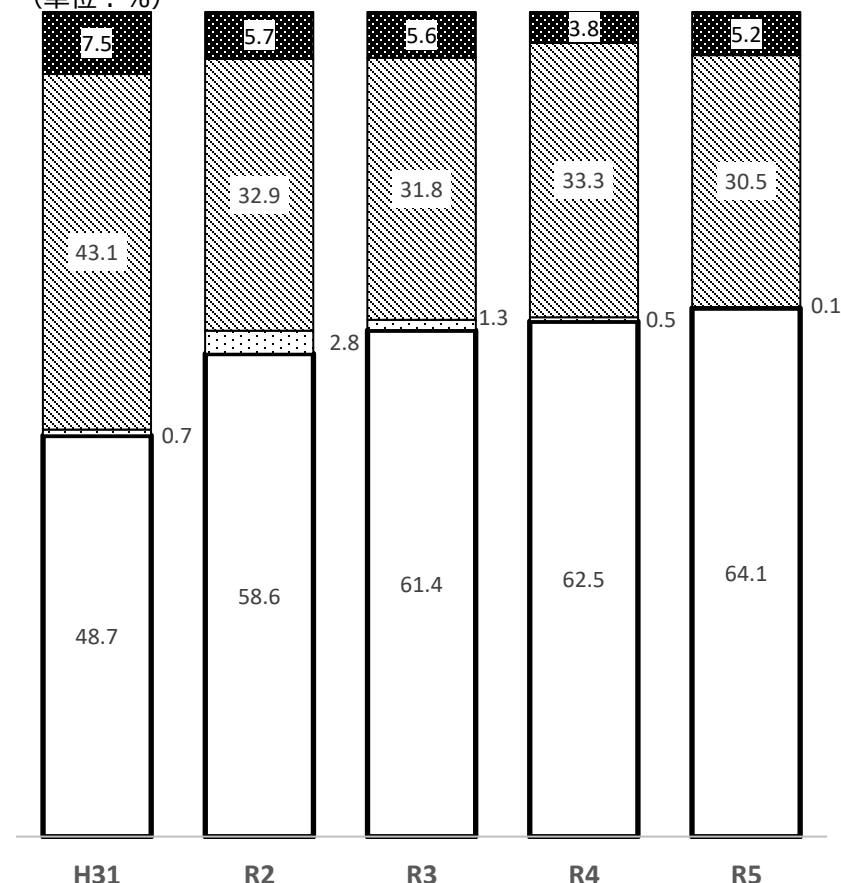
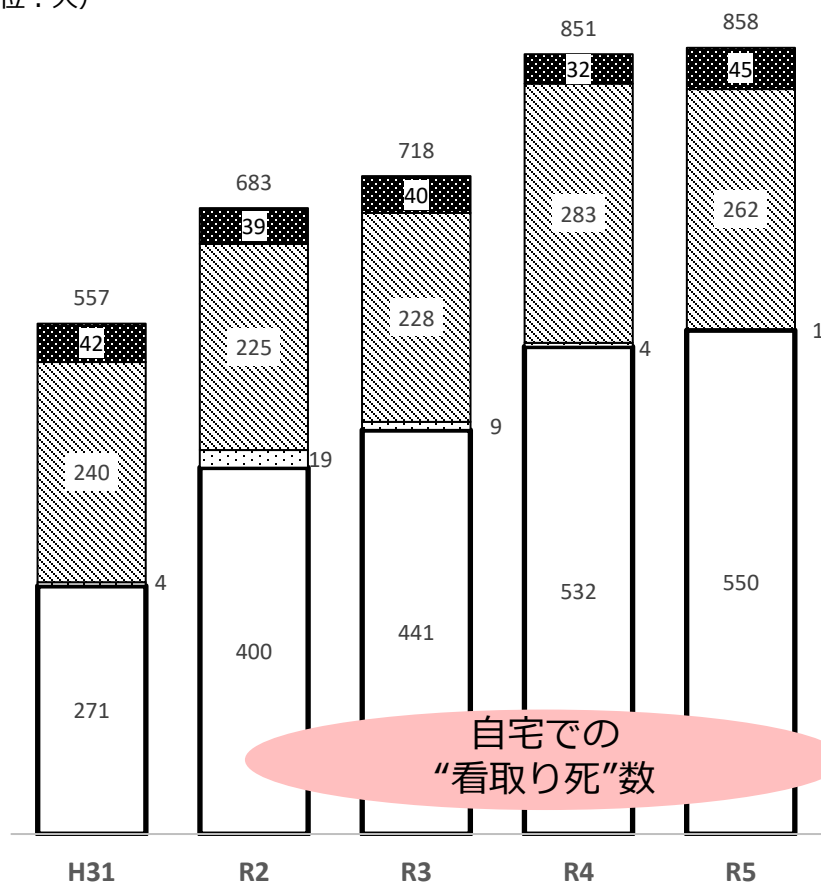
③死体検案書発行（病死・自然死、監察医による発行）

②死体検案書発行（病死・自然死、非監察医による発行と推定）

④死体検案書発行（病死・自然死以外）

(単位：人)

(単位：%)



自宅での
“看取り死”数

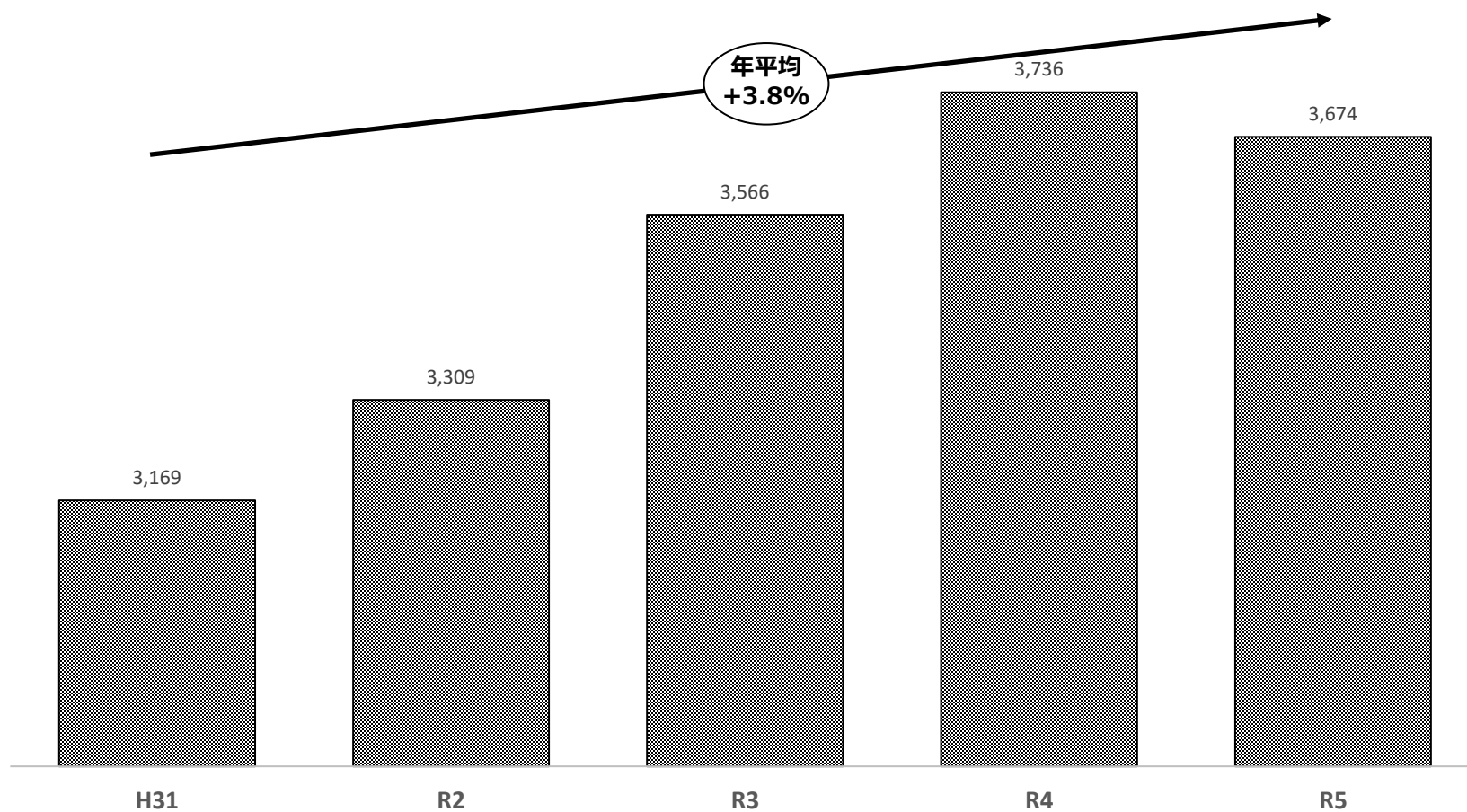
“看取り死”の推移

(以降の分析は、“看取り死を母集団”とする)

“看取り死”数の推移

- “看取り死”数はおおむね増加傾向にあり、年平均3.8%で増加している。

(単位：人)



死亡場所別の“看取り死”数の推移

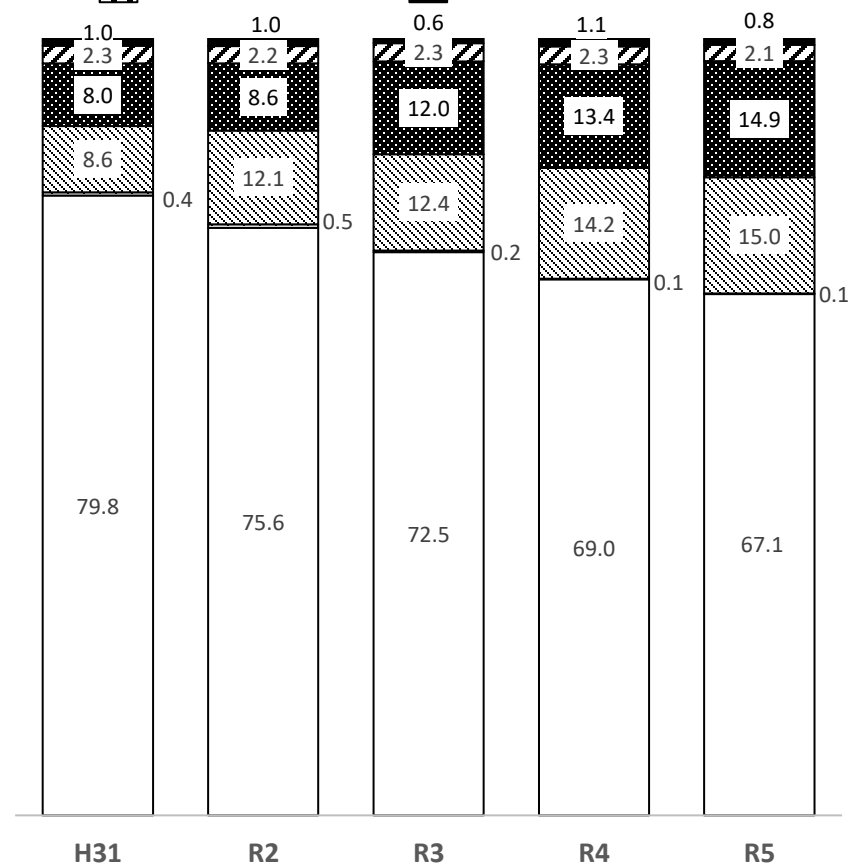
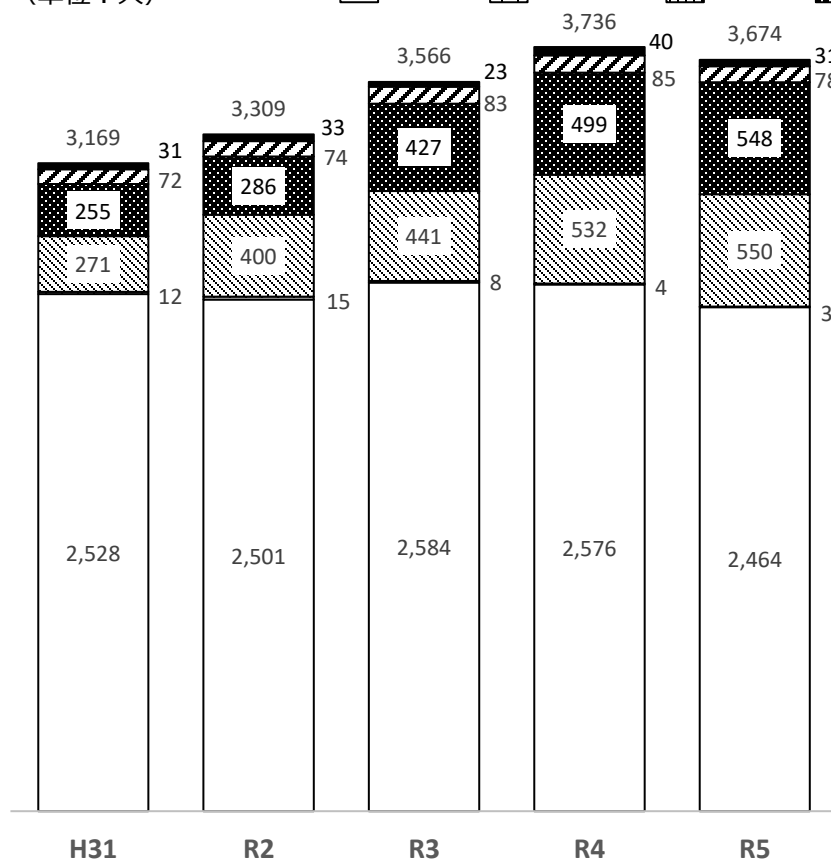
- 自宅での“看取り死”数は増加傾向にあり、平成31年と比較して約2倍に増加した。
- 老人ホームでの“看取り死”数は増加傾向にあり、平成31年と比較して約2.1倍に増加した。

実数

割合

(単位：人)

□ ①病院 ▨ ②診療所 ▩ ③自宅 ■ ④老人ホーム ▤ ⑤介護老人保健施設 ■ ⑥その他



*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（1/4） 北部エリア

- 平成31年と比較して、どのエリアも自宅での“看取り死”は増加傾向であるが、東部エリアは前年より減少している。

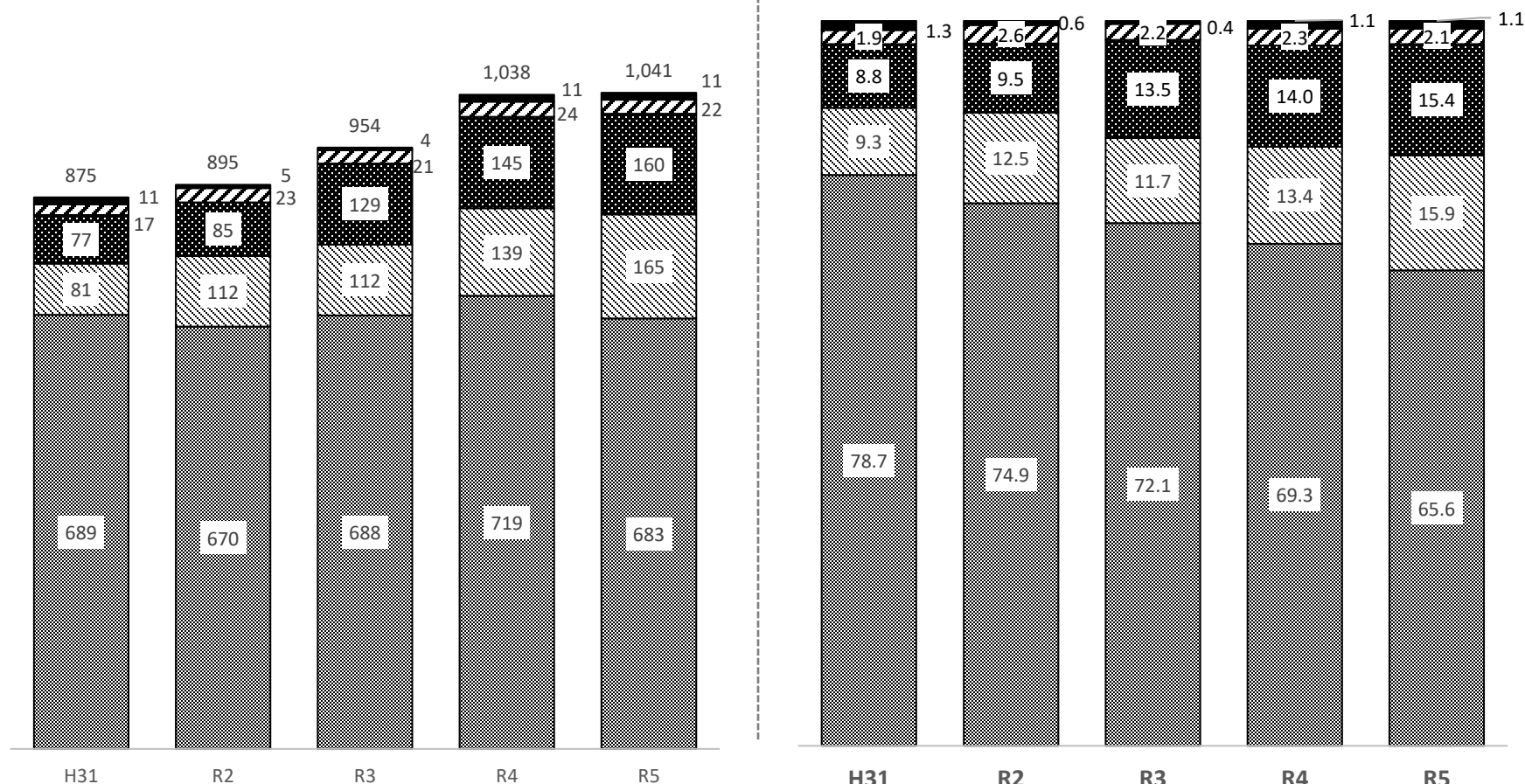
実数

割合

（単位：人）

（単位：%）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他



*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（2/4） 中央エリア

（前のページの続き）

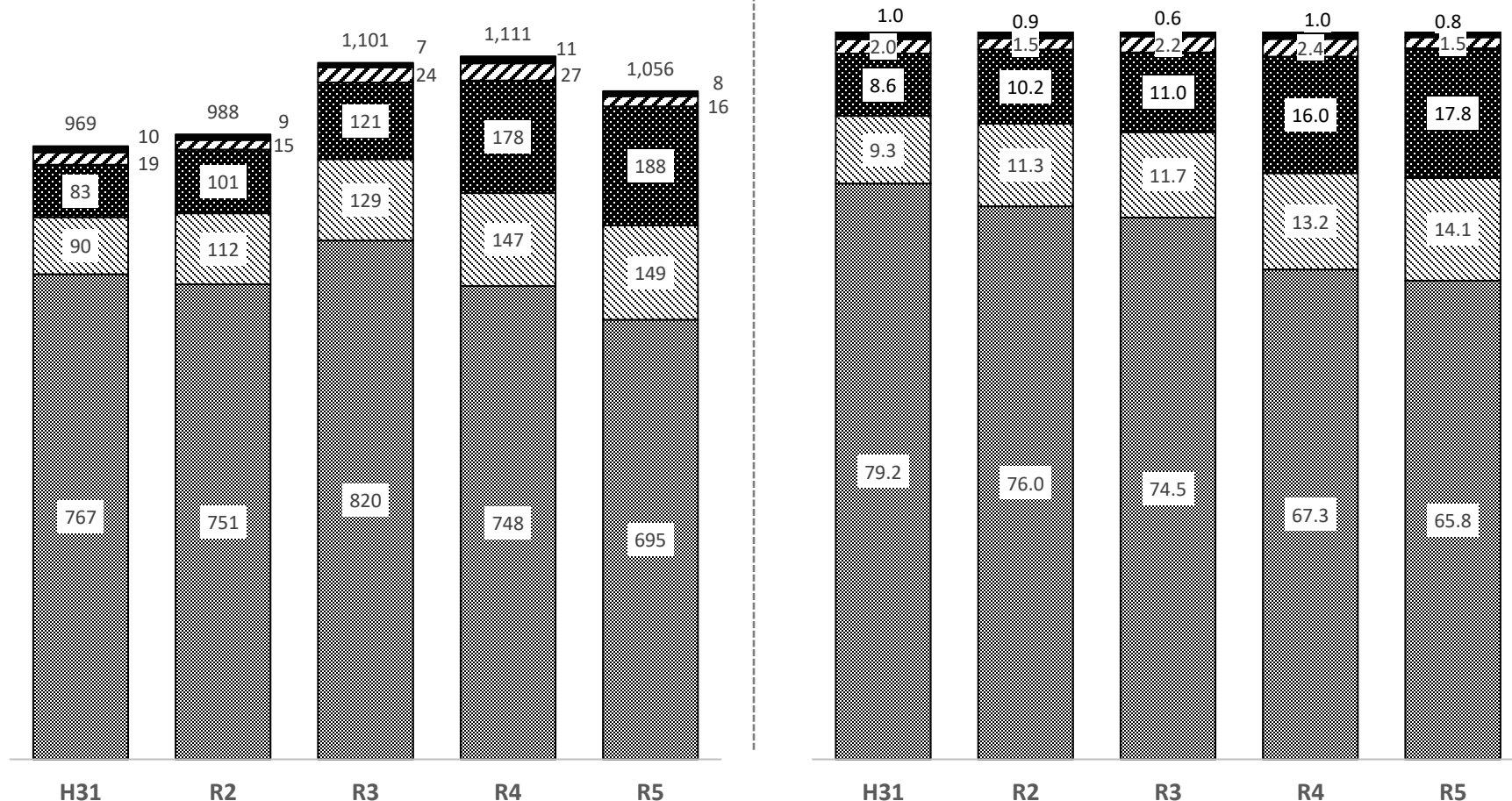
実数

割合

（単位：人）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他

（単位：%）



*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（3/4） 南部エリア

（前のページの続き）

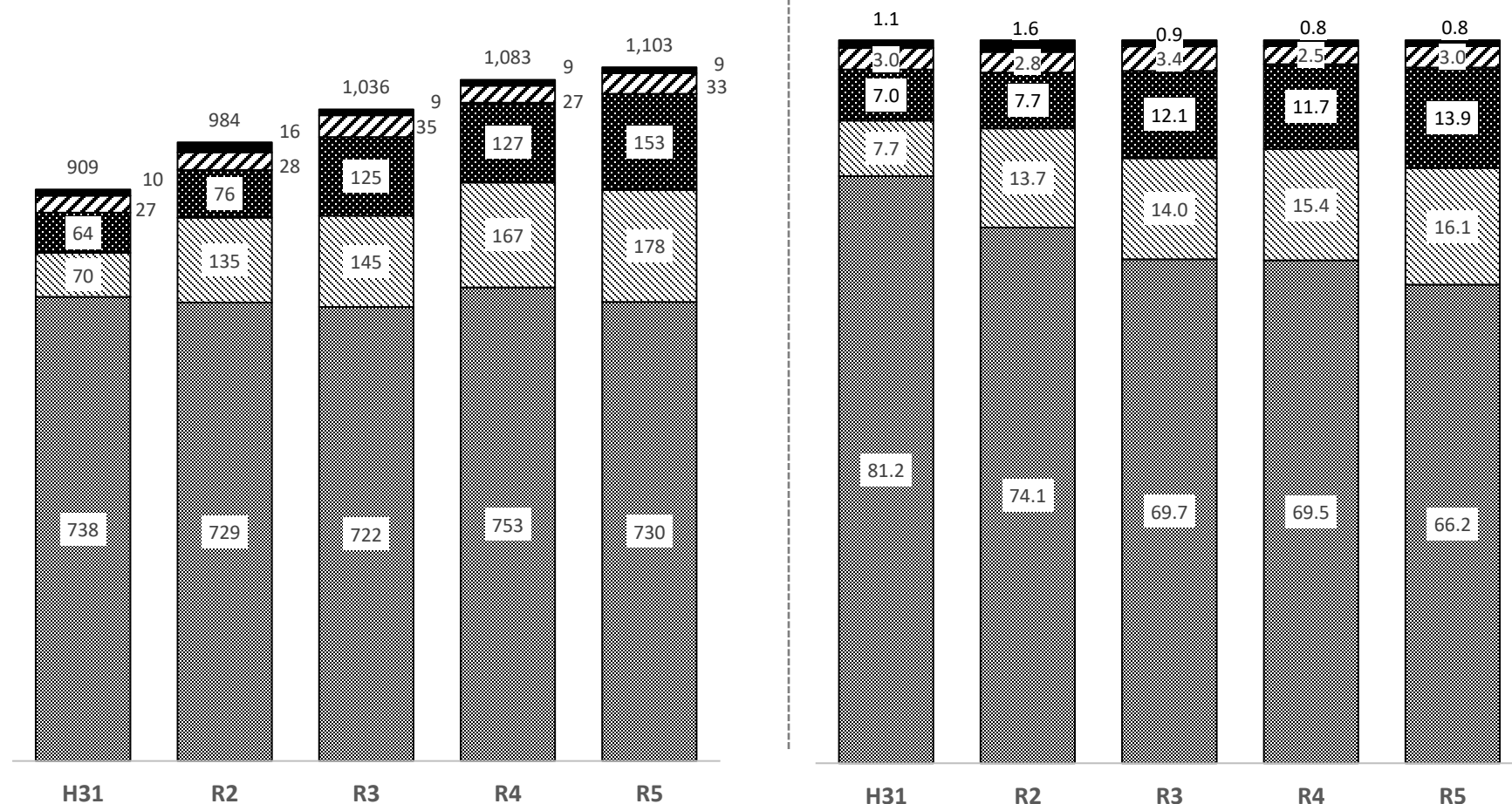
実数

割合

（単位：人）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他

（単位：%）



*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（4/4） 東部エリア

（前のページの続き）

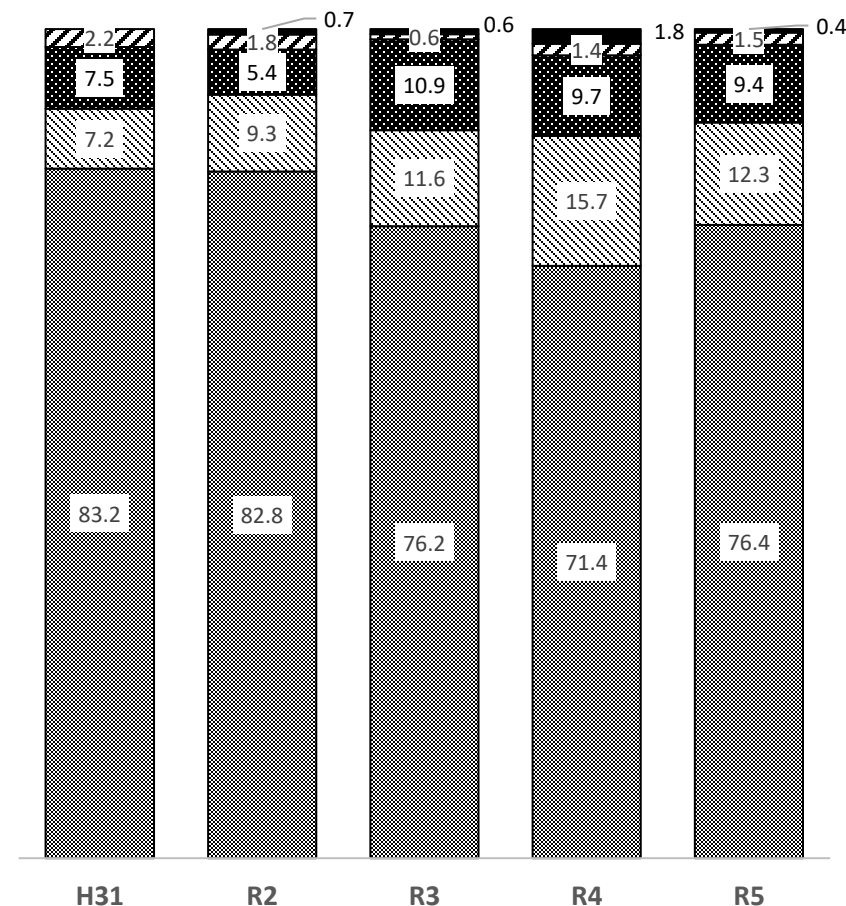
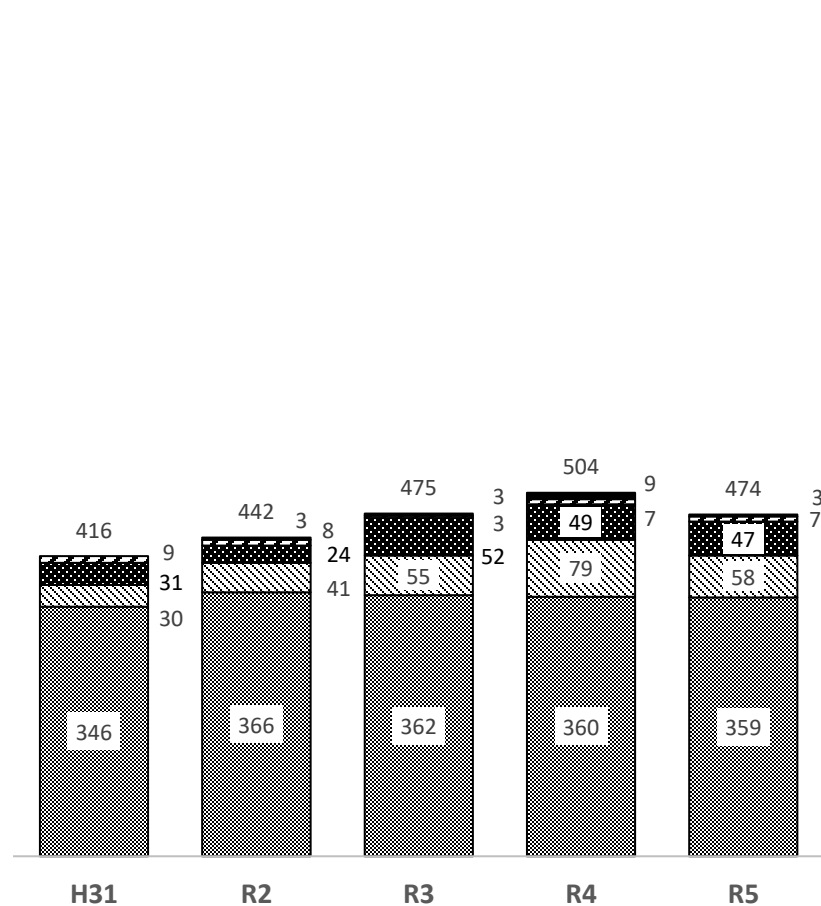
実数

割合

（単位：人）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他

（単位：%）



*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

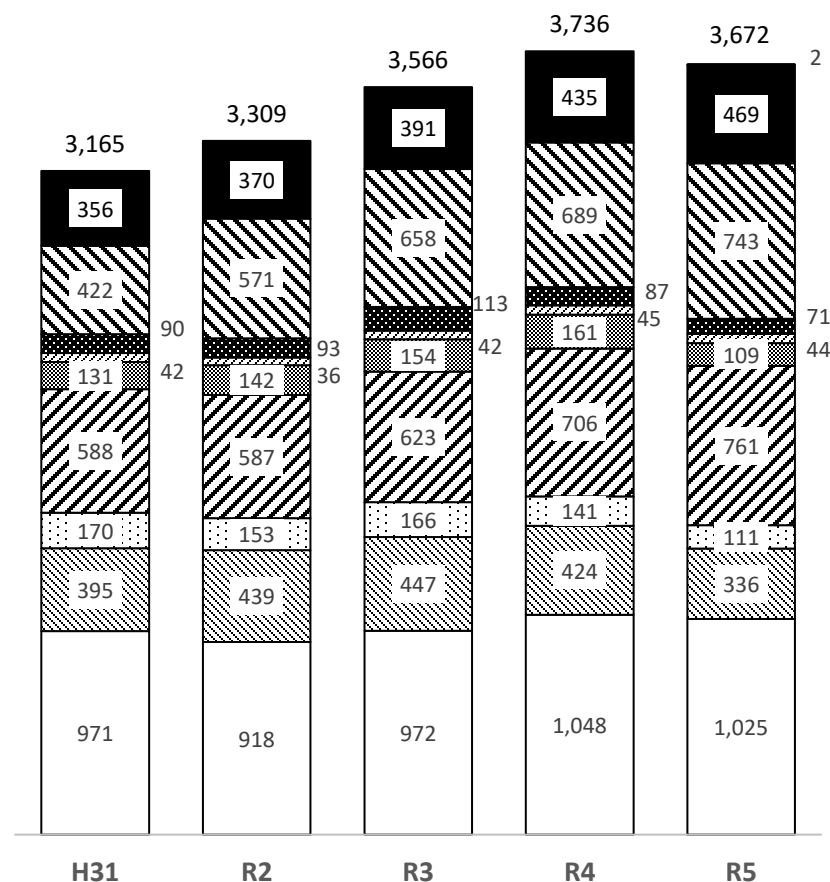
*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

“看取り死”した方の死因の推移

- 令和5年は肺炎、老衰の件数が増加している。
- 5年間の“看取り死”における主な死因の割合は、肺炎、老衰が増加傾向、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患が減少傾向である。

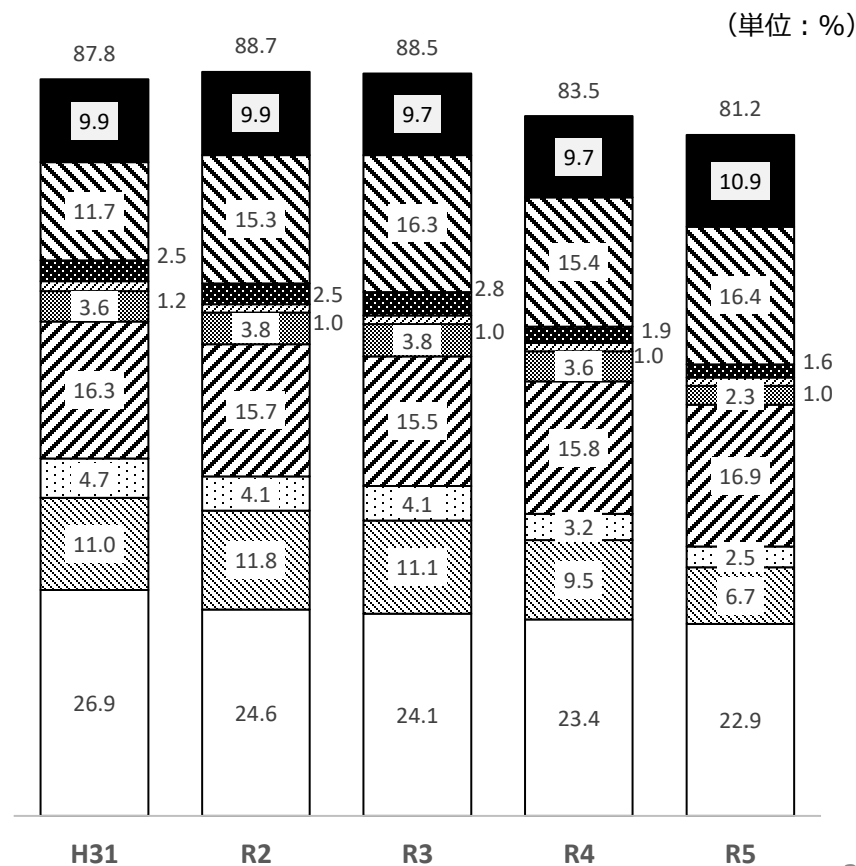
実数

(単位：人) □ ①悪性新生物 ▨ ②心疾患 ▩ ③脳血管疾患
▧ ④肺炎 ▦ ⑤呼吸器疾患 (肺炎と5類を除く)
▨ ⑥肝疾患 ▤ ⑦腎疾患 ▥ ⑧老衰 (認知症を含む)



柏市民の全死亡に対する割合

▨ ④肺炎 ▦ ⑤呼吸器疾患 (肺炎と5類を除く)
▤ ⑦腎疾患 ▥ ⑧老衰 (認知症を含む) ■ ⑨その他の死因 ▩ ③脳血管疾患



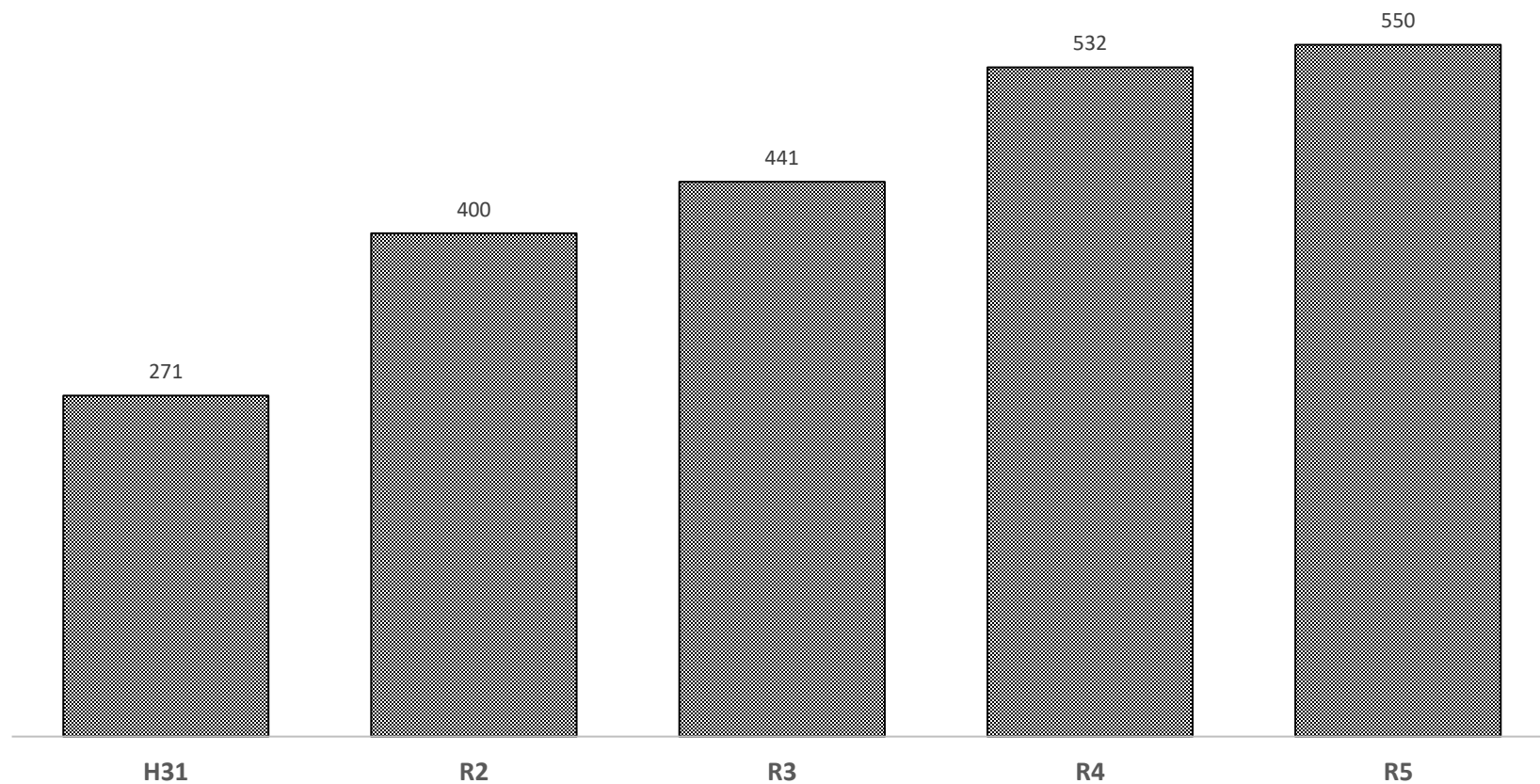
*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

自宅での“看取り死”の推移

自宅での看取り件数の推移

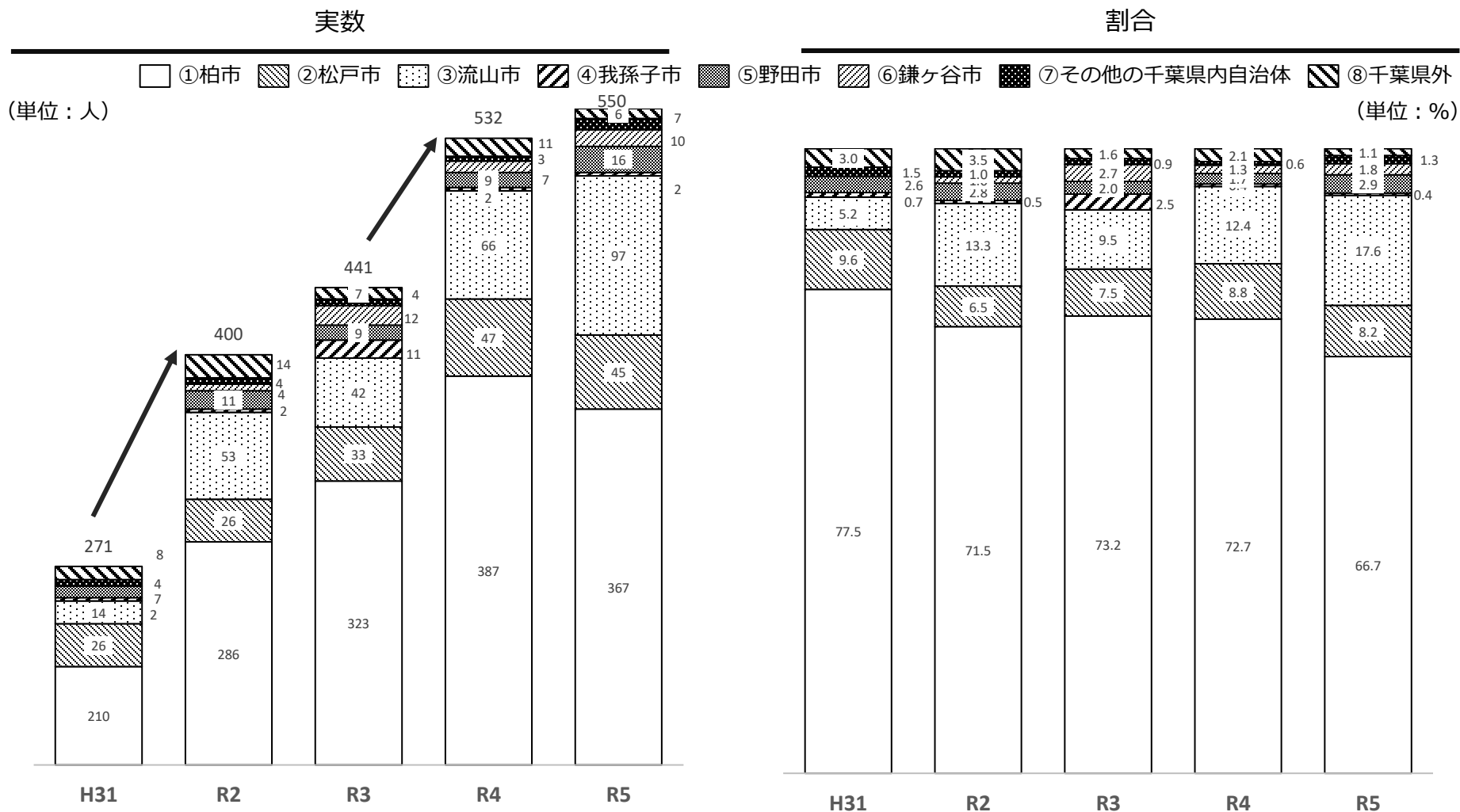
- 自宅での看取り件数は令和2年に急増し、令和5年にかけて増加している。

(単位：人)



医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

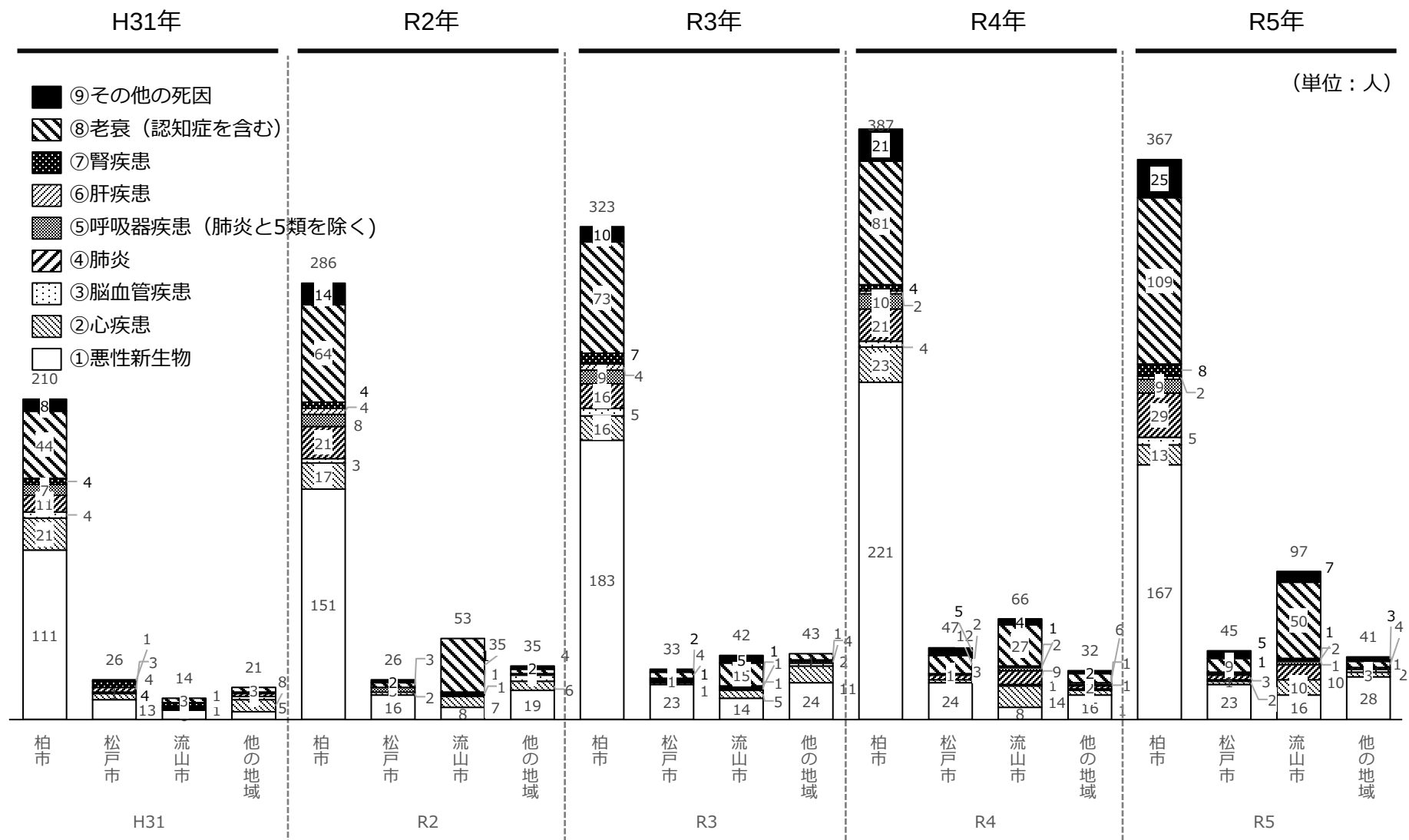
- 令和4年から令和5年は、柏市内医療機関による看取り件数、割合は減少した。
- 近隣市では、流山市・野田市・鎌ヶ谷市の医療機関による看取り件数が増加した。



*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

死因別・医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による老衰（認知症を含む）の看取りの件数は増加傾向である。

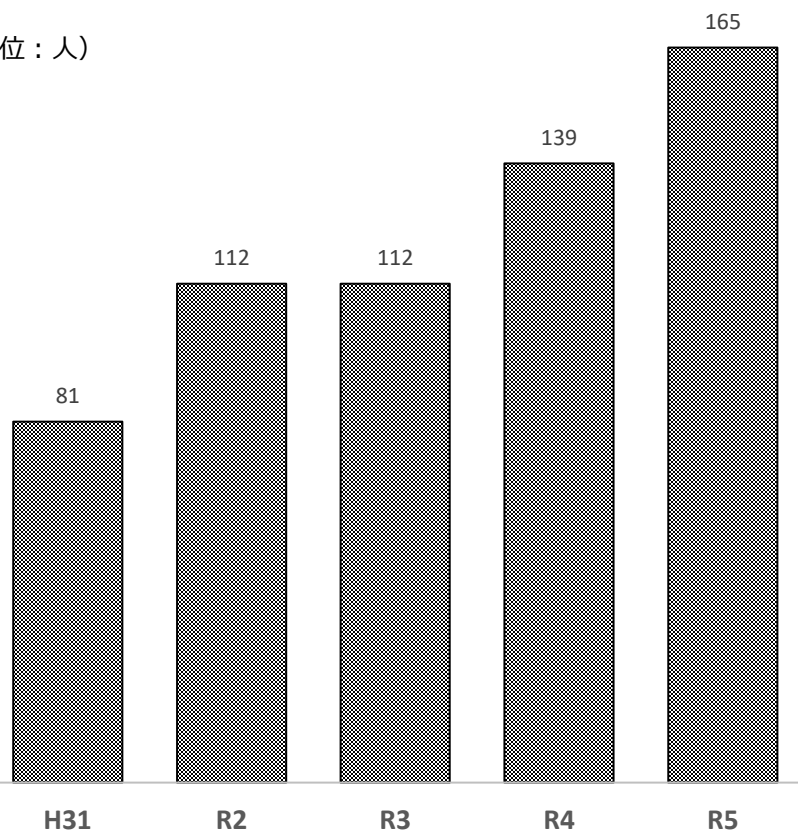


市内のエリア別の自宅“看取り死”数の推移（1/2）

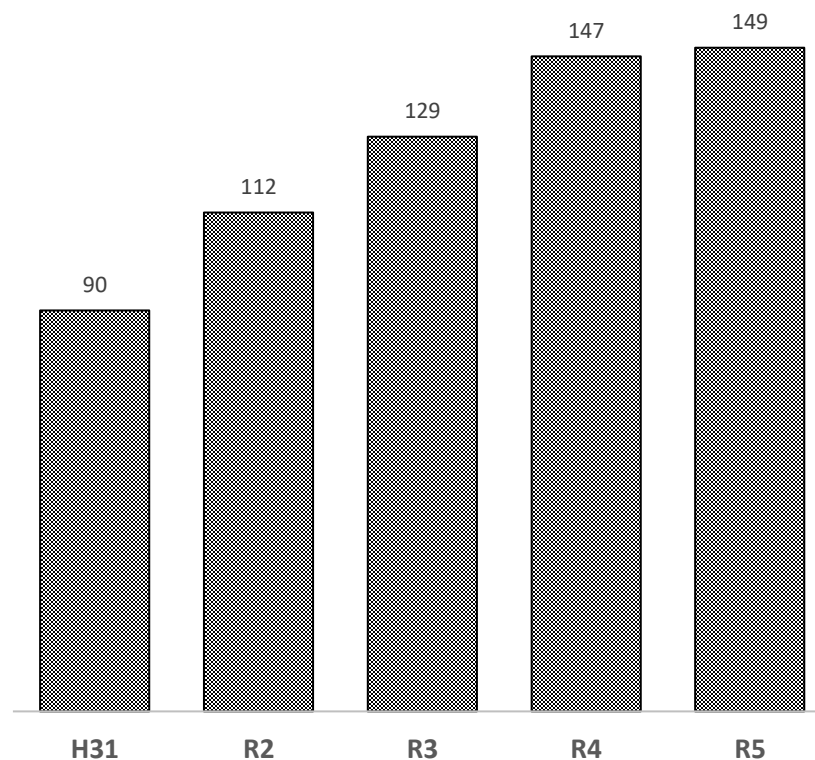
- 東部を除くエリアにおいて、自宅“看取り死数”が増加している。

北部エリア

(単位：人)



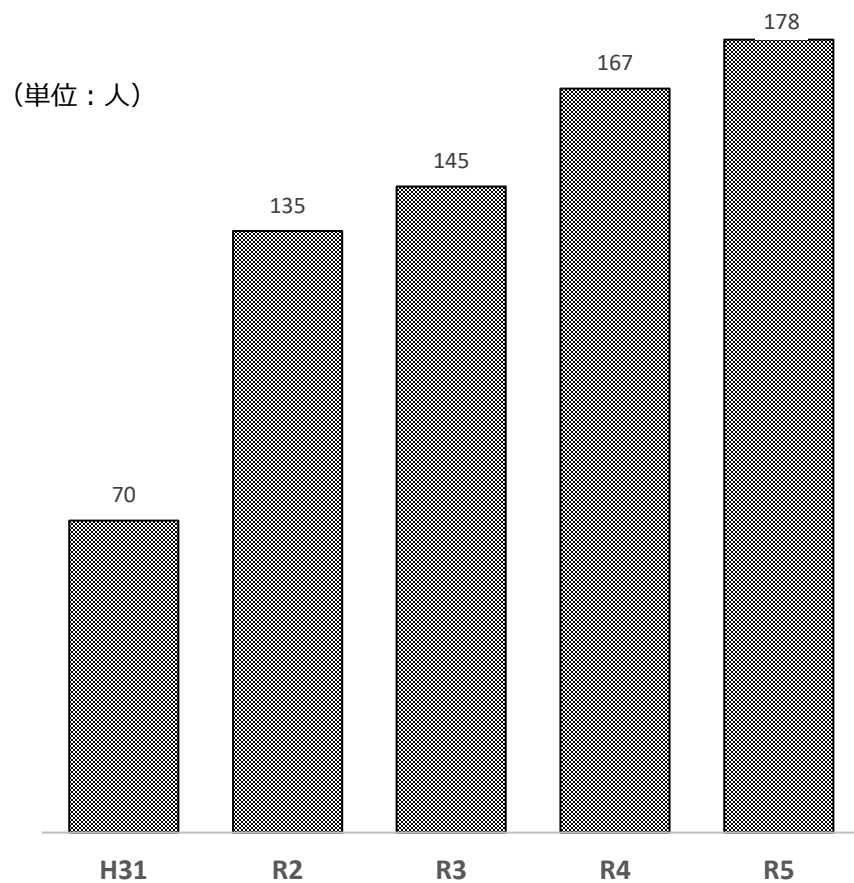
中央エリア



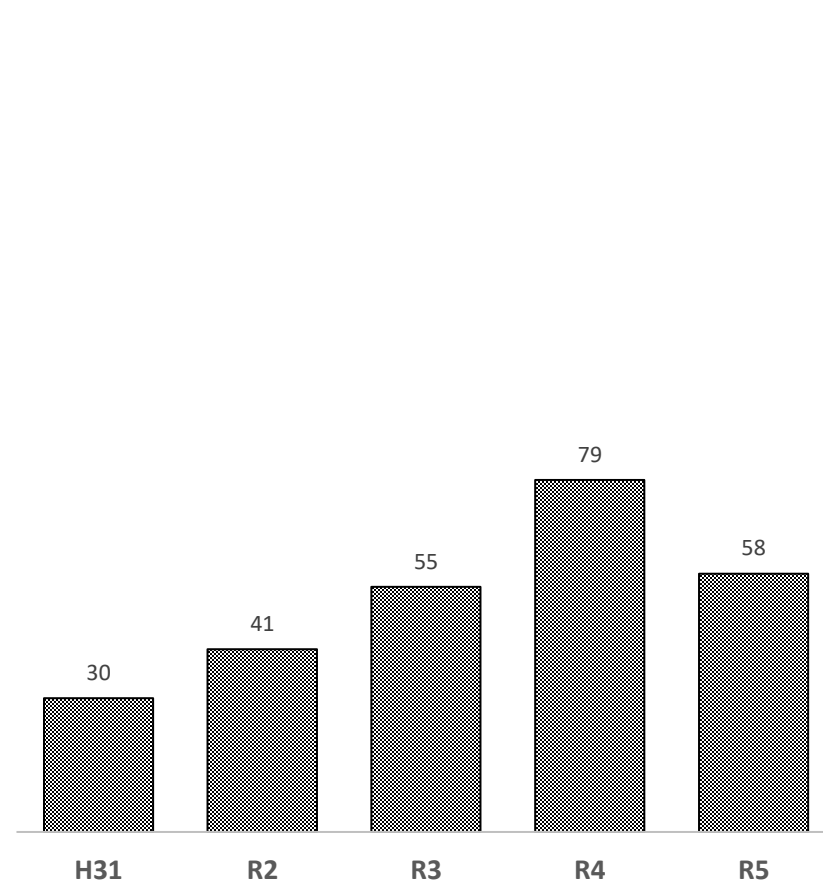
市内のエリア別の自宅“看取り死”数の推移（2/2）

（前ページの続き）

南部エリア



東部エリア



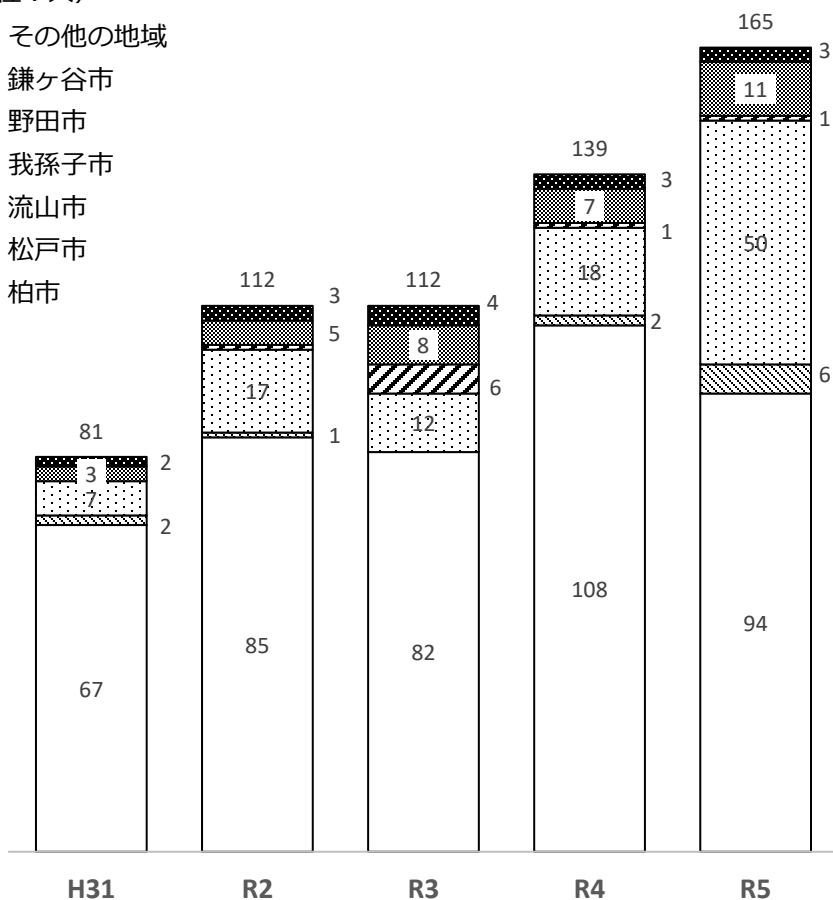
市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（1/4）

北部エリア

- 柏市内の医療機関での看取り件数は、北部、東部エリアにおいて減少している。
- 柏市内の医療機関での看取り割合は、北部、南部、東部エリアにおいて減少している。
- 近隣市では、北部エリアにおいて流山市の医療機関が急激に増加している。

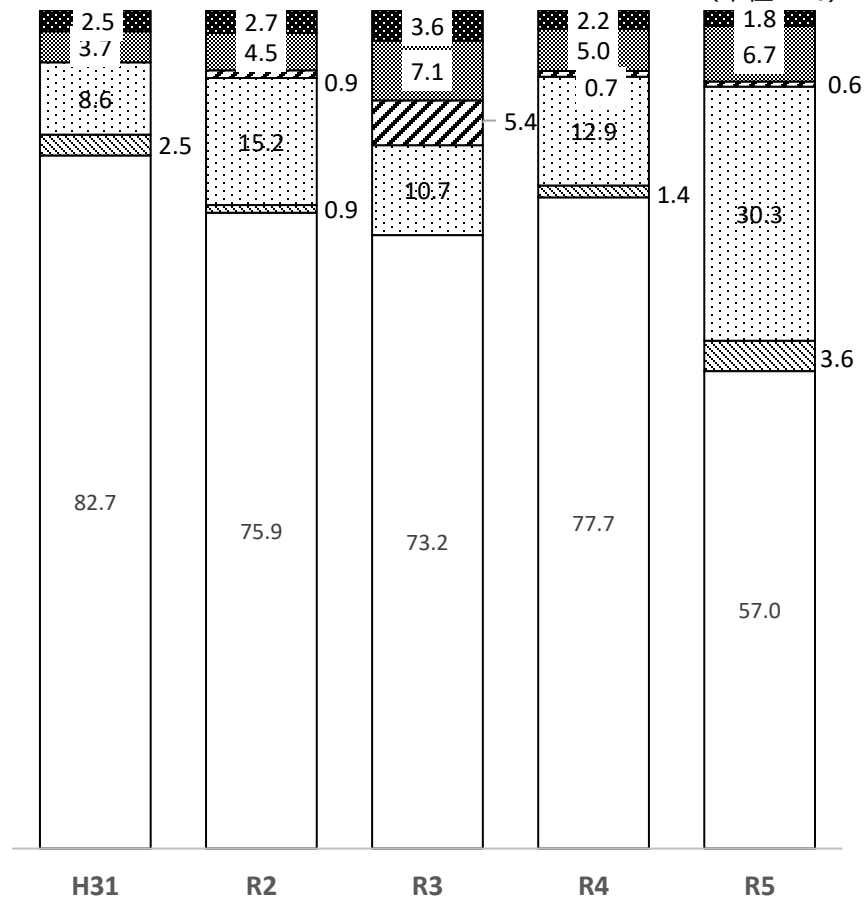
実数

(単位：人)



割合

(単位：%)

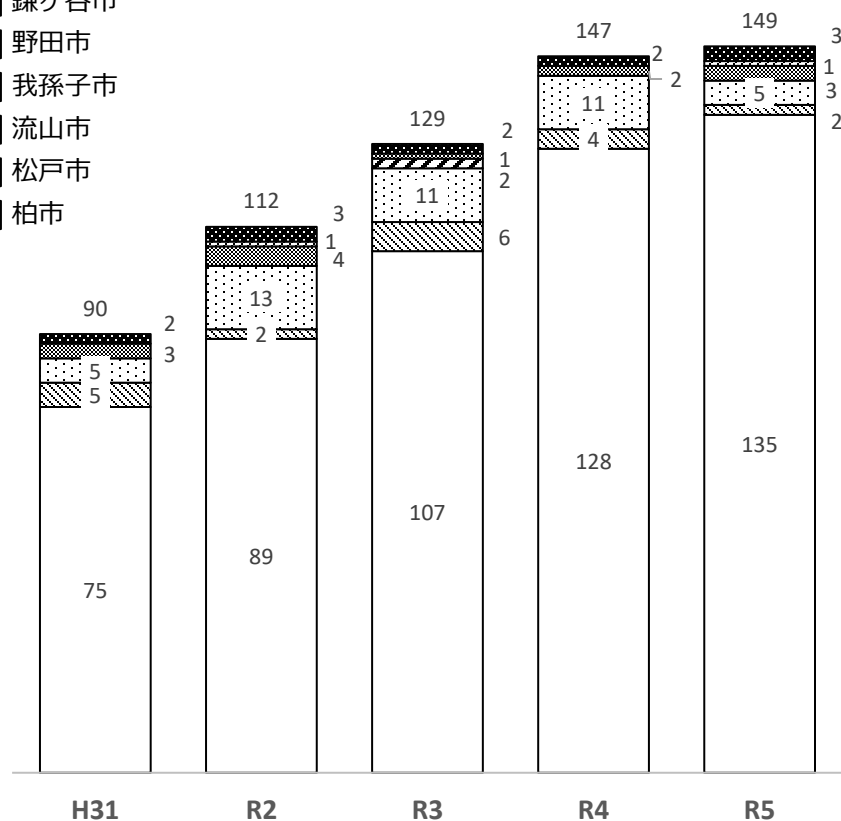


市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（2/4） 中央エリア

（前のページの続き）

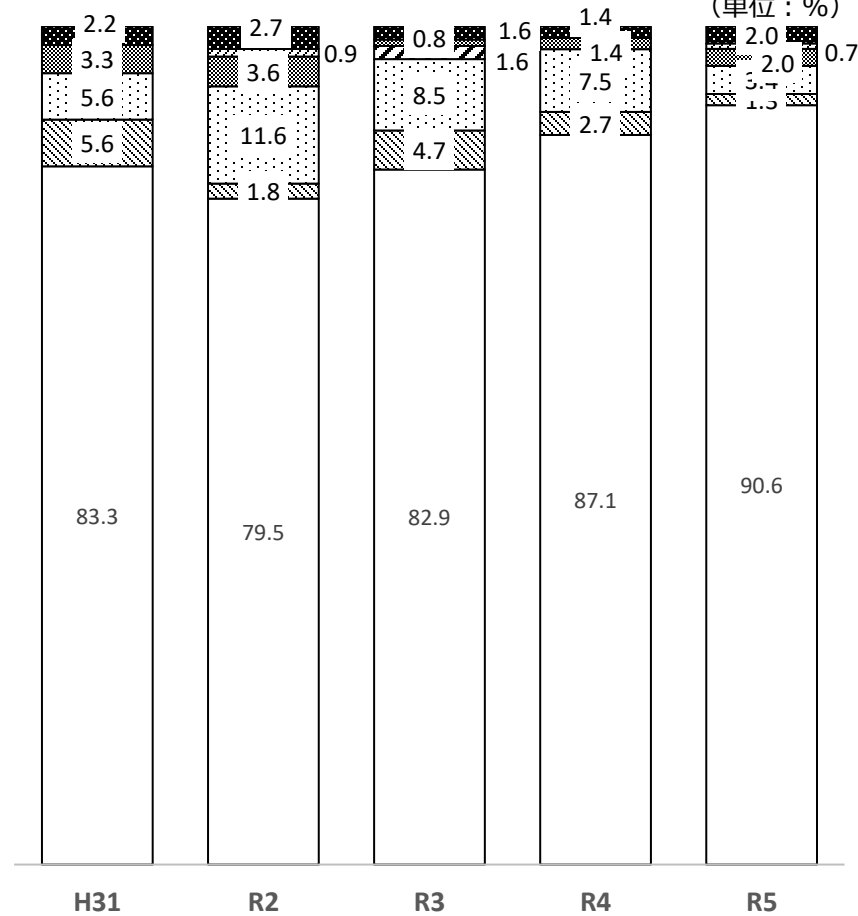
実数

（単位：人）



割合

（単位：％）

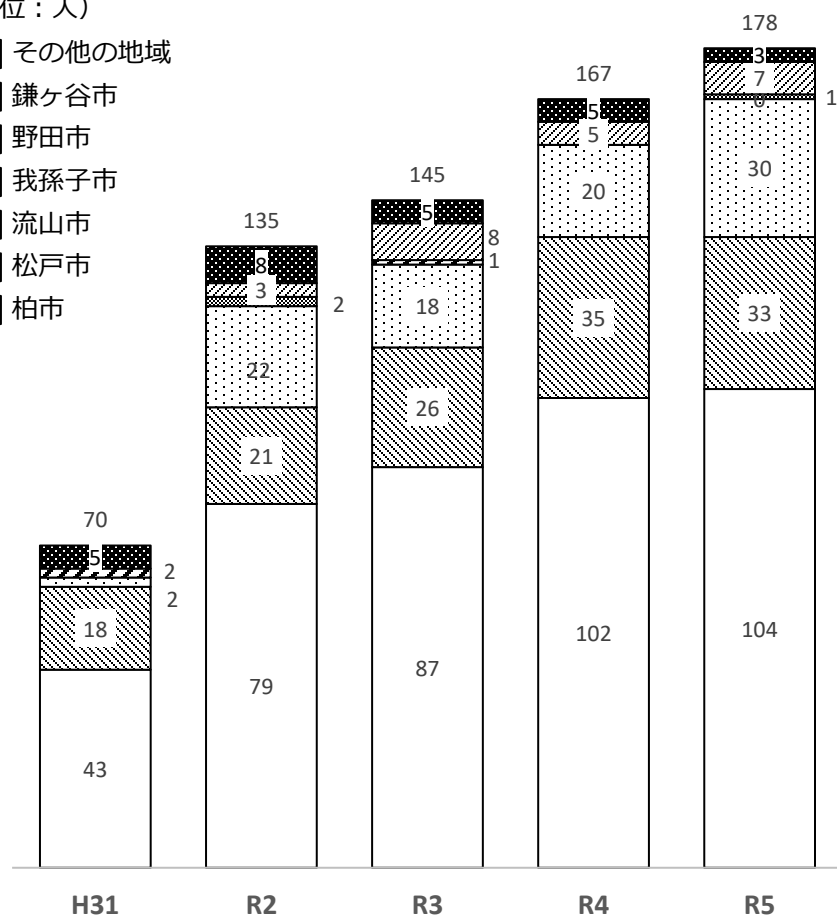


市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（3/4） 南部エリア

（前のページの続き）

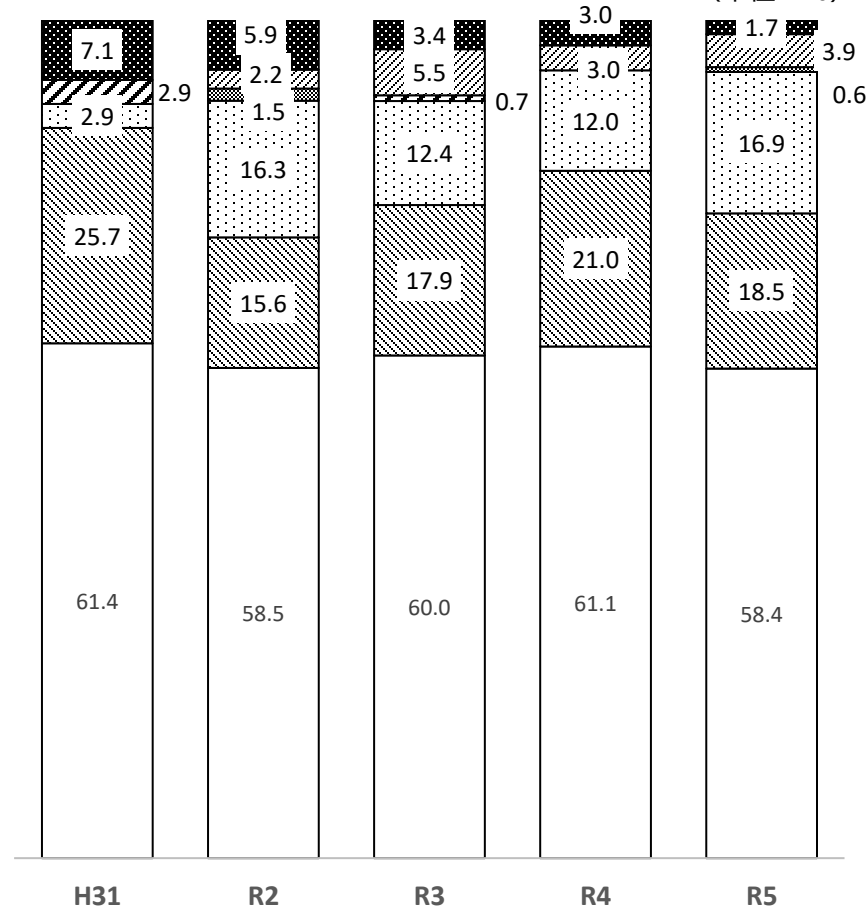
実数

（単位：人）



割合

（単位：％）

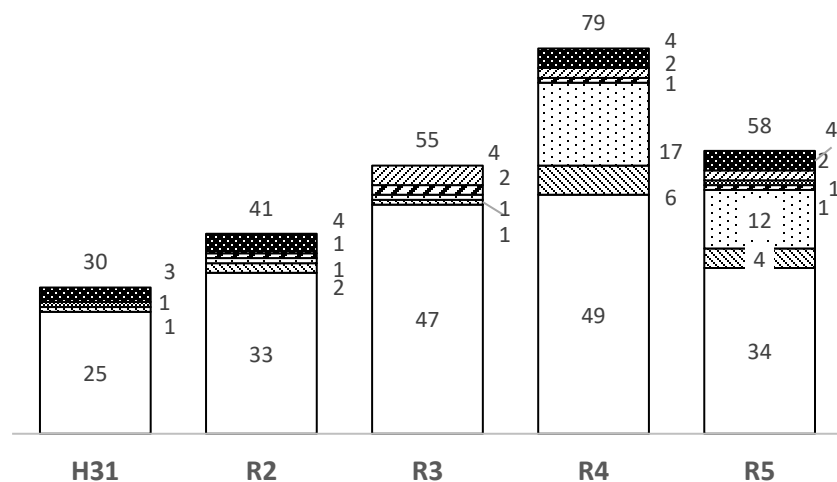


市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（４/４） 東部エリア

（前のページの続き）

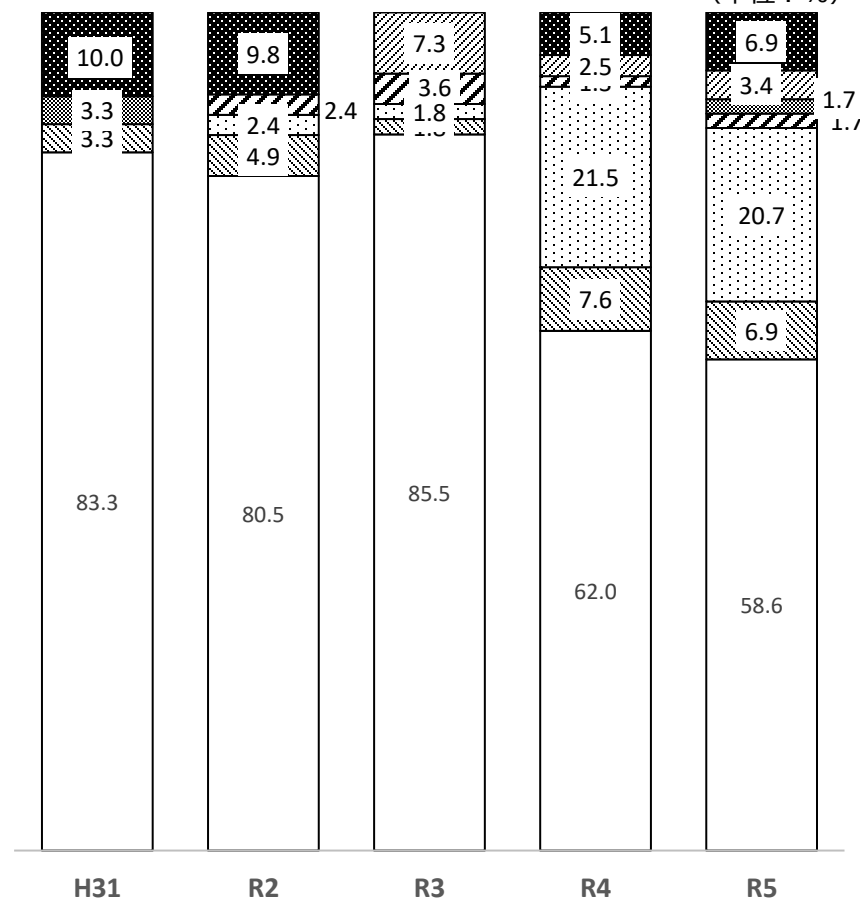
実数

（単位：人）



割合

（単位：％）



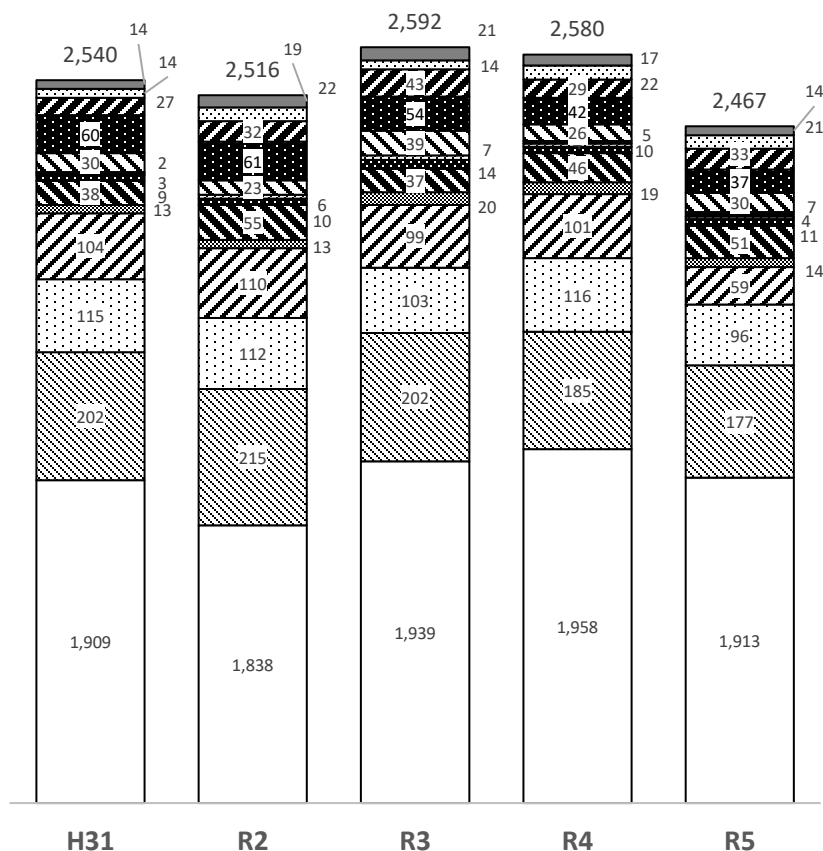
その他のデータ

医療機関の立地別の医療機関での看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による看取りの割合は、75%前後で推移している。
- 他市では、松戸市、流山市、我孫子市の割合が高い。

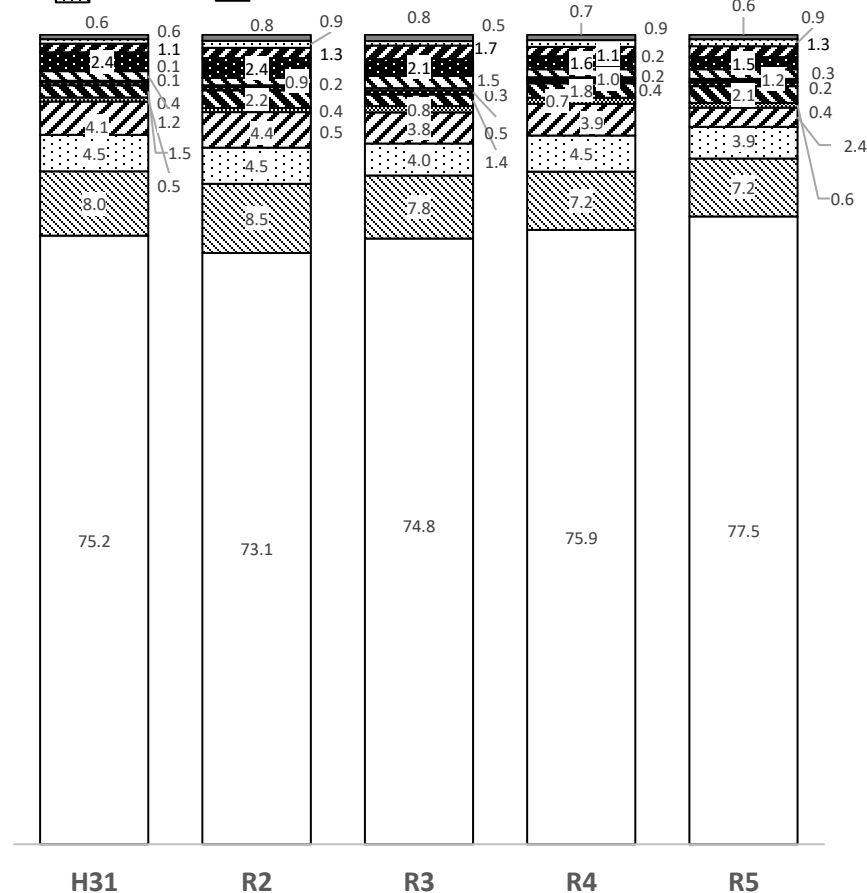
実数

(単位：人) □ ①柏市 ▨ ②松戸市 ▩ ③流山市 ▪ ④我孫子市 ▧ ⑤野田市 ▦ ⑥鎌ヶ谷市 ▨ ⑦白井市 ▩ ⑧印西市
 ■ ⑨千葉市 ▨ ⑩その他の千葉県内自治体 ▨ ⑪東京都 ▨ ⑫茨城県 ▨ ⑬埼玉県 ▨ ⑭その他の都道府県（国外・不詳含む）



割合

(単位：%)



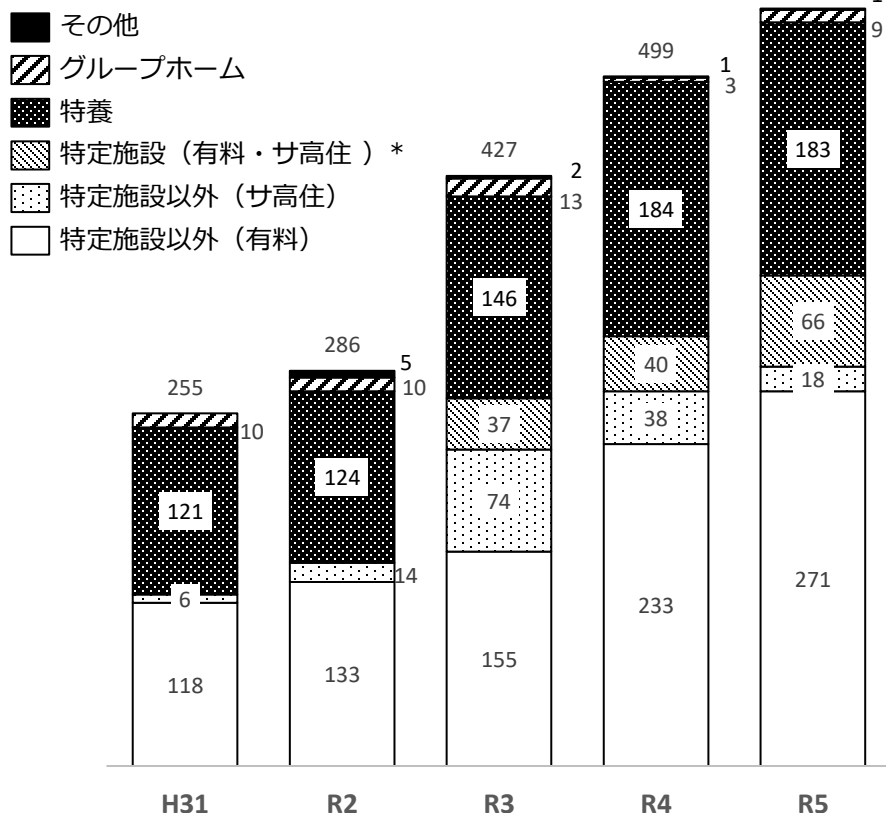
*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

老人ホームの種別ごとの看取り件数の推移

- 特定施設以外の有料及び特定施設の有料・サ高住での看取り件数は増加傾向にある。

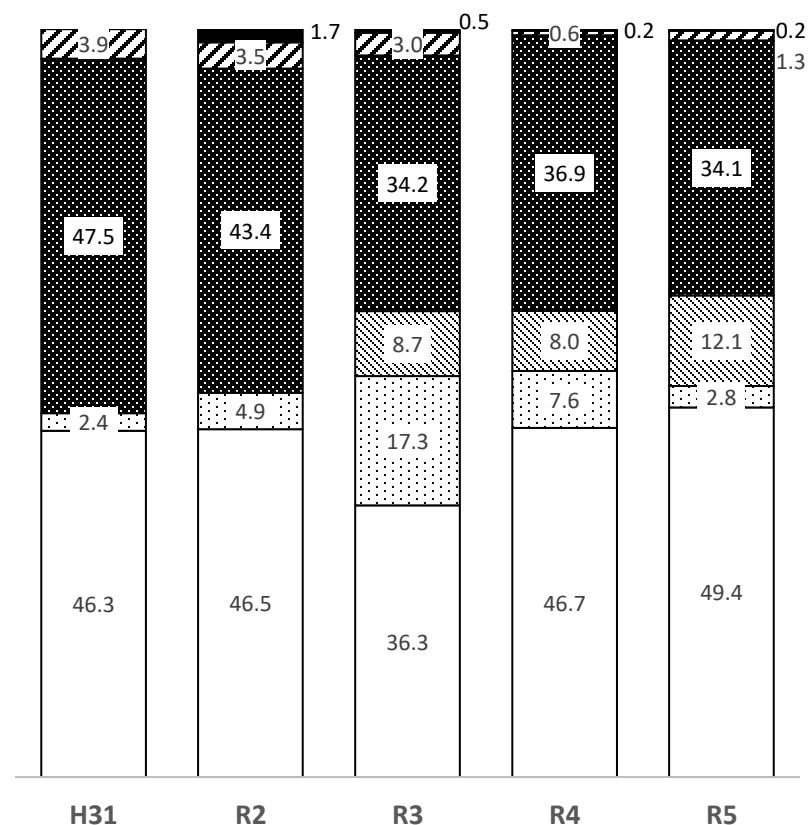
実数

(単位：人)



割合

(単位：%)



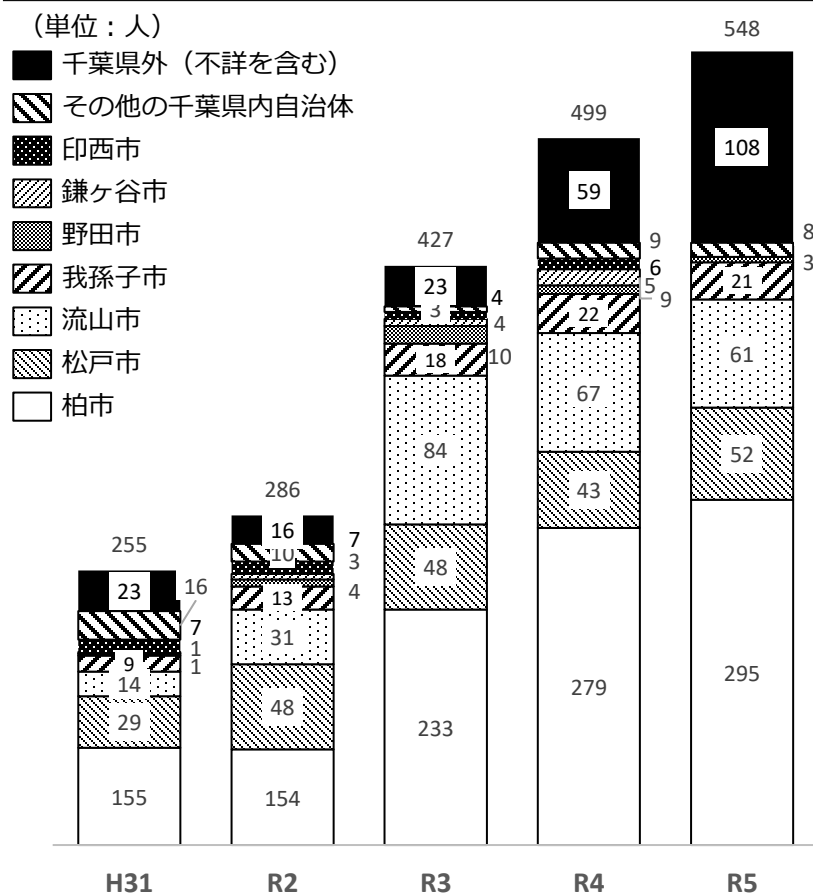
*特定施設（正式名称：特定施設特定施設入居者生活介護）… 指定を受けた有料老人ホームなどで、日常生活上の介護や機能訓練などを行う施設。令和3年度の調査より、特定施設のサービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームを特出

**割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

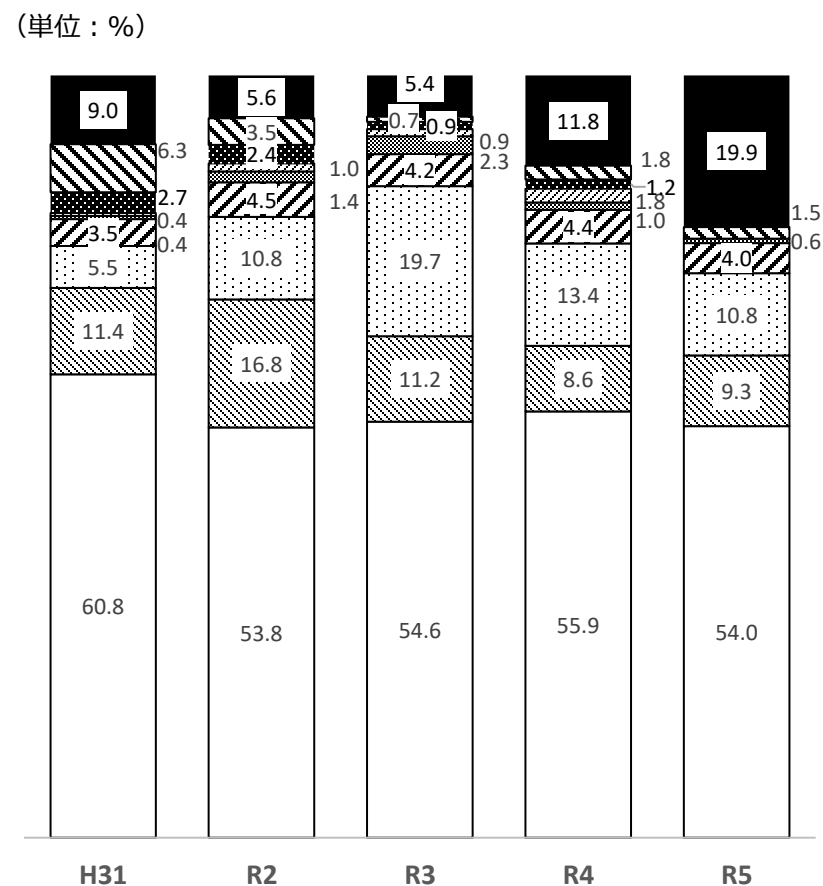
老人ホームで看取りをした医療機関の立地ごとの看取り件数の推移

- 令和5年は、柏市内，松戸市，千葉県外（不詳を含む）の医療機関による看取り件数が増加し，割合では千葉県外（不詳を含む）が増加している。

実数



割合



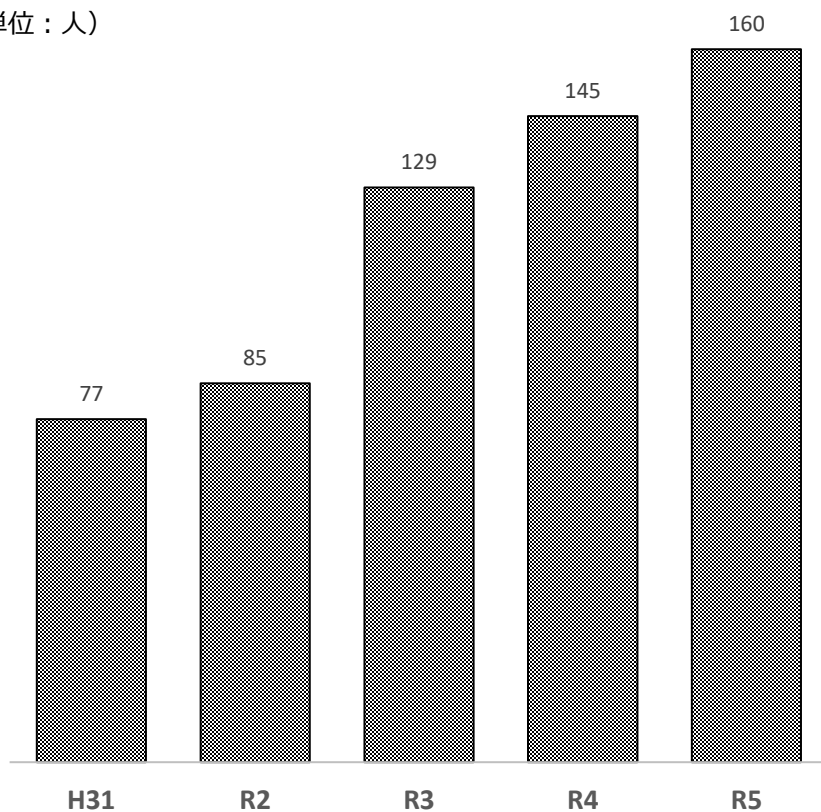
*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

市内のエリア別の“老人ホーム”看取り死数の推移（1/2）

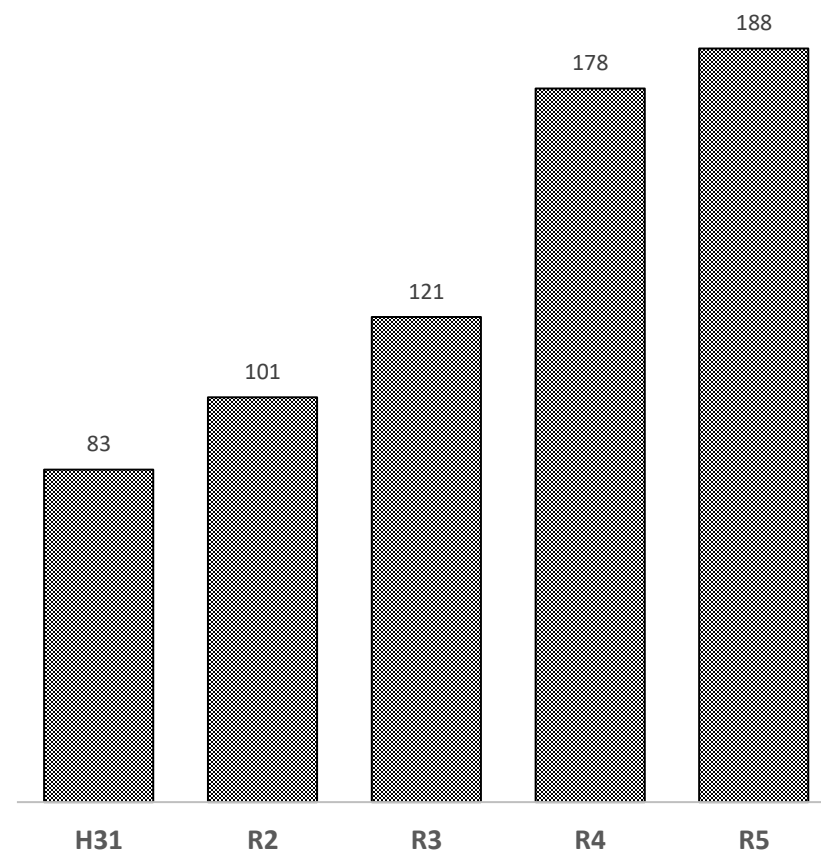
- 令和5年は北部、中央、南部エリアで看取り死数が増加し、中でも南部エリアが増加した。

北部エリア

(単位：人)



中央エリア

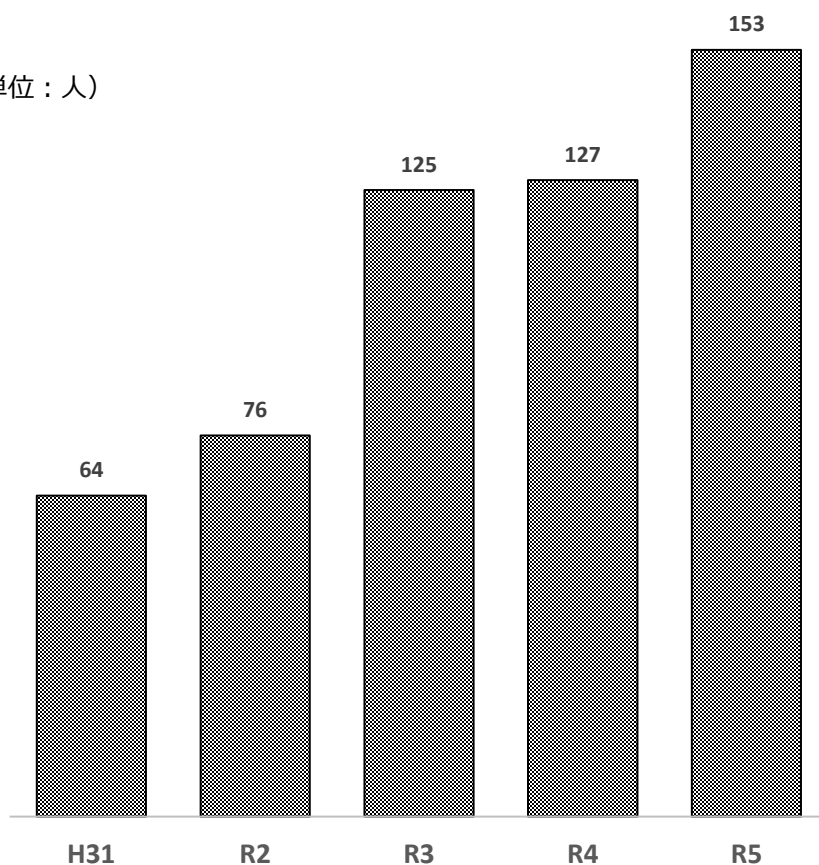


市内のエリア別の“老人ホーム”看取り死数の推移（2/2）

（前ページの続き）

南部エリア

（単位：人）



東部エリア

